



## 概要

---

- 機能 (1 ページ)
- 展開オプション (5 ページ)
- パッケージの内容 (6 ページ)
- シリアル番号とデジタル ドキュメンテーション ポータル QR コード (8 ページ)
- 前面パネル (10 ページ)
- 前面パネル LED (14 ページ)
- 背面パネル (17 ページ)
- 8 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール (19 ページ)
- 4 ポート 40 Gb ネットワークモジュール (21 ページ)
- 2 ポート 100 Gb ネットワークモジュール (23 ページ)
- ハードウェアバイパス対応 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール (25 ページ)
- ハードウェアバイパス対応 6 ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュール (28 ページ)
- 電源モジュール (32 ページ)
- デュアルファンモジュール (34 ページ)
- SSD (35 ページ)
- サポート対象の SFP/SFP+/QSFP+ トランシーバ (37 ページ)
- ハードウェア仕様 (40 ページ)
- 製品 ID 番号 (41 ページ)
- 電源コードの仕様 (45 ページ)

## 機能

Cisco Secure Firewall 3100 は、スタンドアロンのモジュラセキュリティサービスプラットフォームであり、Secure Firewall 3105、3110、3120、3130、および 3140 が含まれています。

3100 シリーズに関連付けられる製品 ID (PID) の一覧については、[製品 ID 番号 \(41 ページ\)](#) を参照してください。

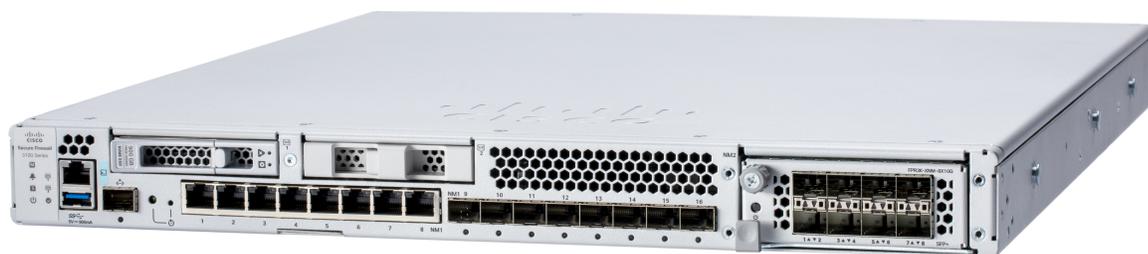
Secure Firewall 3100 は Cisco Firepower Threat Defense および Cisco ASA ソフトウェアをサポートします。サポート対象の各バージョンについて、オペレーティングシステムとホスティング環境の要件を含めた Cisco ソフトウェアとハードウェアの互換性を提供する、『[Cisco Secure Firewall Threat Defense Compatibility Guide](#)』と『[Cisco Secure Firewall ASA Compatibility](#)』を参照してください。



(注) Secure Firewall 3105 は最初に Cisco Firepower Threat Defense 7.3 と Cisco ASA 9.19 以降でサポートされます。

次の図は、Secure Firewall 3100 を示しています。

図 1: Secure Firewall 3100



次の表に、Secure Firewall 3100 の機能を示します。

表 1: Secure Firewall 3100 の機能

機能	3105	3110	3120	3130	3140
フォームファクタ	1 RU 標準の 19 インチ (48.3 cm) 角穴ラックに対応				
ラック マウント	(オプション) 2 本支柱型マウントブラケット X 2 本スライドレール 4 ポスト米国電子工業会 (EIA) -310-D ラック (注) Secure Firewall 3100 用のスライドレールを注文することをお勧めします。				
エアフロー	前面から背面 (I/O 側から非 I/O 側) コールドアイルからホットアイルへ				
プロセッサ	AMD 7272		AMD 7282	AMD 7352	AMD 7452
コア数	12		16	24	32
コアクロック	2.9 GHz		2.8 GHz	2.3 GHz	2.35 GHz
システム メモリ	2 × 32 GB		2 × 64 GB	4 × 32 GB	4 × 64 GB

機能	3105	3110	3120	3130	3140
管理ポート	1 x 1/10 Gb 小型フォームファクタ pluggable port (SFP)				
コンソールポート	1 x RJ-45 シリアルポート				
USB ポート	USB 3.1 タイプ A (900 mA) ポート				
ネットワークポート	8 x SFP+ 固定ポートおよび 8 x 銅線 RJ-45 ポート 名前付きイーサネット 1/1 ~ 1/16				
ネットワークモジュールポート	8 x 1/10/25 Gb SFP ポート 4 x 40 Gb QSFP ポート				
ネットワークモジュールスロット	1 つ (注) 同一モジュールのホットスワップはサポートされていますが、ネットワークモジュールを別のタイプに交換する場合は、新しいネットワークモジュールが認識されるようにシステムを再起動する必要があります。				

機能	3105	3110	3120	3130	3140
ネットワーク モジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 8 ポート 1Gb/10Gb SFP+ (FPR3K-XNM-8X10G)</li> <li>• 6 ポート 1 Gb SFP SX マルチモードハードウェア バイパス (FPR3K-XNM-6X1SXF)</li> <li>• 6 ポート 10 Gb SFP SR マルチモードハードウェア バイパス (FPR3K-XNM-6X10SRF)</li> <li>• 6 ポート 10 Gb SFP LR シングルモードハードウェア バイパス (FPR3K-XNM-6X10LRF)</li> <li>• 8 ポート 10/100/1000Base-T ハードウェアバイパス (FPR3K-XNM-8X1GF)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 8 ポート 1Gb/10Gb/25Gb SFP+ (FPR3K-XNM-8X25G)</li> <li>• 8 ポート 1Gb/10Gb SFP+ (FPR3K-XNM-8X10G)</li> <li>• 4 ポート 40 Gb QSFP+ (FPR3K-XNM-4X40G)</li> <li>• 6 ポート 1 Gb SFP SX マルチモードハードウェアバイパス (FPR3K-XNM-6X1SXF)</li> <li>• 6 ポート 10 Gb SFP SR マルチモードハードウェアバイパス (FPR3K-XNM-6X10SRF)</li> <li>• 6 ポート 10 Gb SFP LR シングルモードハードウェアバイパス (FPR3K-XNM-6X10LRF)</li> <li>• 6 ポート 25 Gb SFP SR マルチモードハードウェアバイパス (FPR3K-XNM-6X25SRF)</li> <li>• 6 ポート 25 Gb SFP LR シングルモードハードウェアバイパス (FPR3K-XNM-6X25LRF)</li> <li>• 8 ポート 10/100/1000Base-T ハードウェアバイパス (FPR3K-XNM-8X1GF)</li> </ul>	
AC 電源装置	<p>電源スロット (2 個)</p> <p>1 つの 400W AC 電源モジュール付きで出荷 ホットスワップ対応</p>			<p>電源スロット (2 個)</p> <p>2 つの 400 W AC 電源モジュール付きで出荷 ホットスワップ対応</p>	

機能	3105	3110	3120	3130	3140
DC 電源	あり (オプション) ホットスワップ対応				
冗長電源	× (注) はい、電源を追加で注文した場合。			対応 (注) 2 台の電源装置が搭載された状態で出荷されます。	
ファン	2 x デュアルファン モジュール スロット (3 + 1) (注) デュアルファン モジュールはホットスワップが可能です。				
ストレージ	2 x Nonvolatile Memory Express (NVMe) SSD スロット スロット 1 に 1 台の 900 GB SSD が取り付けられた状態で出荷。スロット 2 用に 2 つ目の RAID1 SSD を注文できます。RAID1 SSD は、RAID1 用に事前設定されています。 (注) スロット 2 は、オプションのソフトウェア RAID1 設定用に予約されています。 (注) ホットスワップは 2 SSD でサポートされています。ただし、ホットスワップする前に、CLI コマンドを入力して RAID から 1 つのディスクを削除する必要があります。手順については、ソフトウェアの CLI コンフィギュレーションガイドを参照してください。				
引き出しアセットカード	シリアル番号と、ロータッチプロビジョニング (LTP) ガイドを指す QR コードを表示します。				
アース ラグ	背面パネル				
電源スイッチ	背面パネル				
リセット ボタン	シリアル コンソール アクセスを必要とせずに、システムを工場出荷時のデフォルトにリセットします (注) リセットボタンは埋め込み型です。ピンで押して 5 秒以上押し続けると、システムが工場出荷時のデフォルトに戻ります。				

## 展開オプション

以下は、Secure Firewall 3100 を展開する方法の例です。

- ファイアウォールとして：
  - 冗長構成のエンタープライズインターネットエッジで
  - 支店や支社で高可用性ペアまたはスタンドアロンとして
  - 小規模企業のニーズに対応する高可用性ペアまたはクラスタ化されたデータセンターで
- 追加のアプリケーション制御、URL フィルタリング、または IPS/脅威中心の機能を提供するデバイスとして
  - インライン構成またはスタンドアロンとしてのエンタープライズインターネットエッジファイアウォールの背後（ハードウェア フェールオープンネットワーク モジュールのサポートが必要）
  - スイッチ上の SPAN ポートまたはネットワーク上のタップから離れてパッシブに展開、またはスタンドアロンとして
- リモート展開を提供し、4G LTE で管理されるブランチネイティブ SD-WAN ソリューションとして
- VPN デバイスとして：
  - リモート アクセス VPN の場合
  - サイト間 VPN の場合

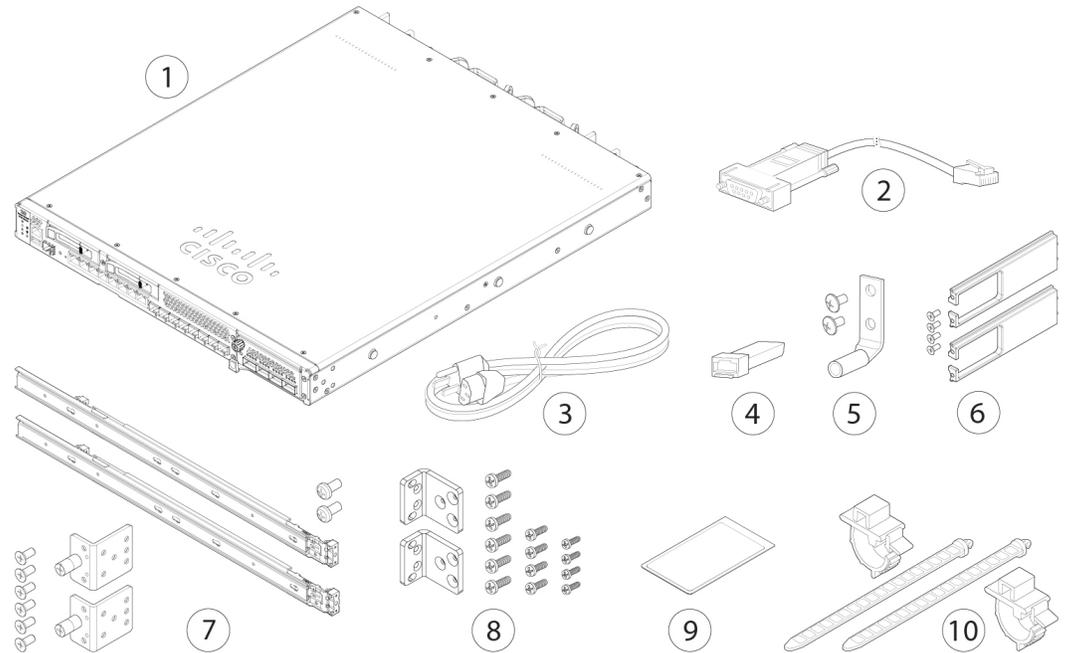
## パッケージの内容

次の図は、Secure Firewall 3100 のパッケージの内容を示しています。内容物は変更される場合があります。オプションパーツを注文するかどうかに応じて、アイテムが追加されたり削除されたりします。パッケージの内容に関連付けられている PID のリストについては、[製品 ID 番号](#)を参照してください。



- 
- (注) シャーシをラックに固定するために使用できる 4 本一組のネジが 2 セット同梱されています。ラックに合うネジを選択してください。
-

図 2: Secure Firewall 3100 パッケージの内容 ( )



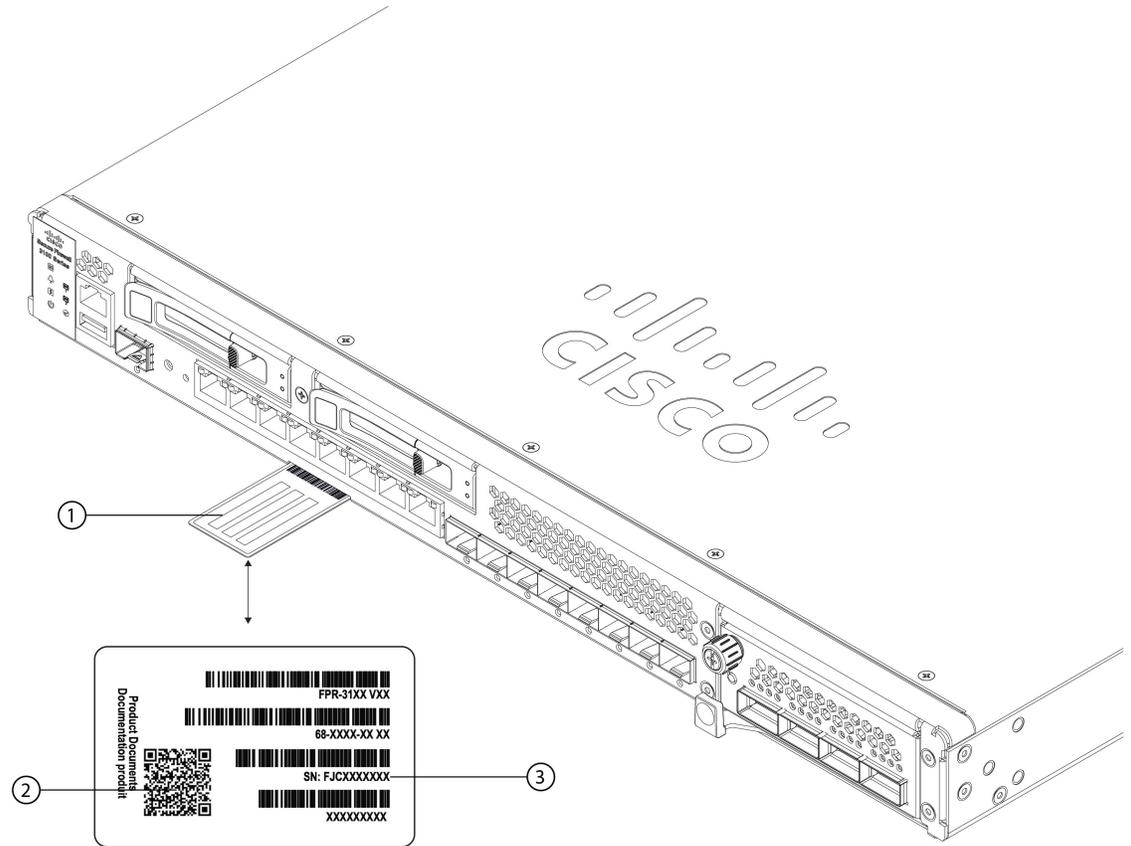
1	Secure Firewall 3100 シャーシ	2	コンソールケーブル RJ-45/DB-9 (部品番号 72-3383-01)
3	1 ~ 2 本の電源コード (国別) 対応している電源コードのリストについては、 <a href="#">電源コードの仕様 (45 ページ)</a> を参照してください。	4	SFP トランシーバ ( ) (オプション、注文した場合はパッケージに含まれています)
5	アースラグキット 1 組 (部品番号 69-100359-01) <ul style="list-style-type: none"> <li>• #6 AWG、90 度、#10 支柱アースラグ 1 個 (部品番号 32-0608-01)</li> <li>• 10-32 x 0.38 インチプラスネジ 2 本 (部品番号 48-0700-01)</li> </ul>	6	ケーブル管理ブラケットキット (部品番号 69-100376-01) <ul style="list-style-type: none"> <li>• ケーブル管理ブラケット 2 個 (部品番号 700-128334-01)</li> <li>• 8-32 X 0.375 インチプラスネジ 4 本 (部品番号 48-2696-01)</li> </ul> (オプション、注文した場合はパッケージに含まれています)

7	<p>2つのスライドレール (800-110033-01) スライドレールアクセサリキット (53-101509-02) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スライドレール固定ブラケット 2 個 (部品番号 700-121935-01)</li> <li>スライドレール固定ブラケット用 8-32 X 0.302 インチプラスネジ 6 本 (部品番号 48-102184-01)</li> <li>M3 X 0.5 X 6 mm プラスネジ 2 本 (部品番号 48-101144-01)</li> </ul> <p>(オプション、注文した場合はパッケージに含まれています)</p>	<p>8 ラックマウントブラケットキット (53-101510-02)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラックマウントブラケット 2 個 (700-127244-01)</li> <li>ブラケットをシャーシに固定するための 8-32 x 0.375 インチのプラスネジ 6 本 (部品番号 48-2286)</li> <li>シャーシをラックに固定するための 10-32 X 0.75 インチプラスネジ 4 本 (部品番号 48-0441-01)</li> <li>シャーシをラックに固定するための 12-24 X 0.75 インチプラスネジ 4 本 (部品番号 48-0440-01)</li> </ul> <p>(オプション、注文した場合はパッケージに含まれています)</p>
9	<p><i>Cisco Secure Firewall 3100</i></p> <p>このドキュメントには、デジタルドキュメントポータルを指す URL と QR コードが含まれています。このポータルには、製品情報ページ、ハードウェア設置ガイド、規制および安全情報ガイド、スタートアップガイド、および簡単導入ガイドへのリンクが含まれています。</p>	<p>10 電源モジュール用タイラップおよびクランプ 2 組 (部品番号 52-100162-01)</p>

## シリアル番号とデジタルドキュメンテーションポータル QR コード

Cisco Secure Firewall 3100 シャーシの前面パネルにある引き出しアセットカードには、シャーシのシリアル番号とデジタルドキュメンテーションポータルの QR コードが含まれています。この QR コードで、スタートアップガイド、法規制および遵守に関するガイド、やさしい導入ガイド、ハードウェア設置ガイドにアクセスできます。

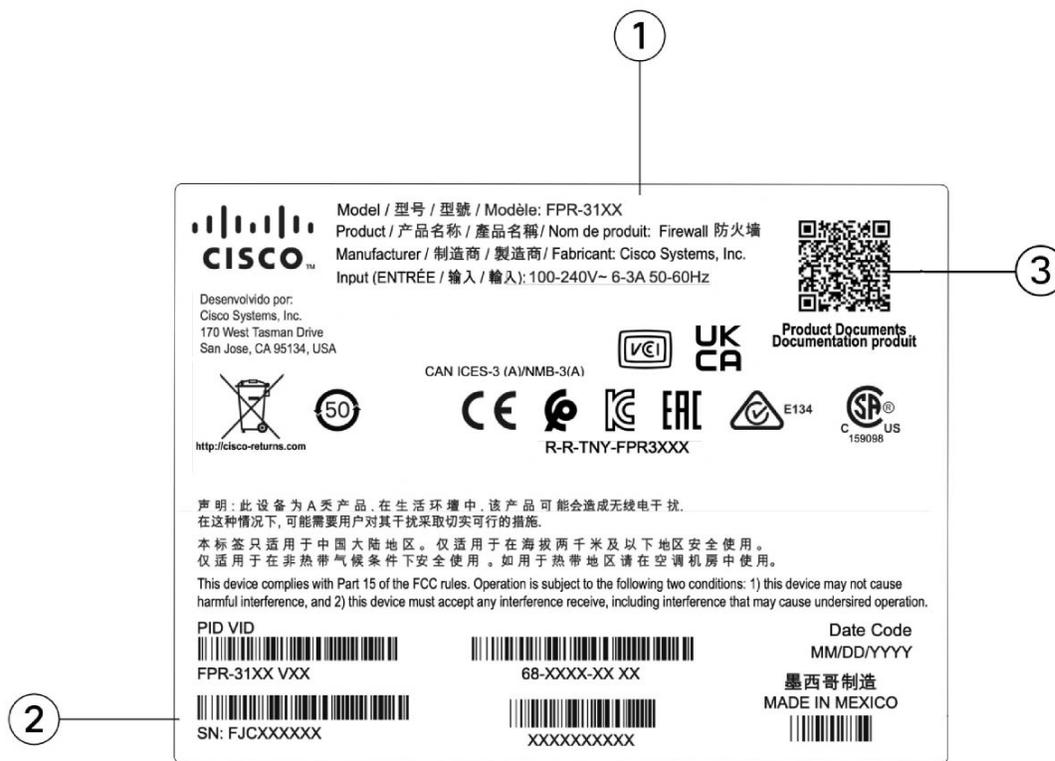
図 3: 引き出しアセットカード



1	引き出しアセットタグ	2	ドキュメンテーションポータルQRコード
3	シャーシのシリアル番号		—

シャーシ底面のコンプライアンスラベルには、シャーシのシリアル番号、法規制遵守マーク、および上記のガイドを指すデジタルドキュメンテーションポータルのQRコードが含まれています。次の図は、シャーシの底面にあるコンプライアンスラベルの例を示しています。

図 4: コンプライアンスラベルの例

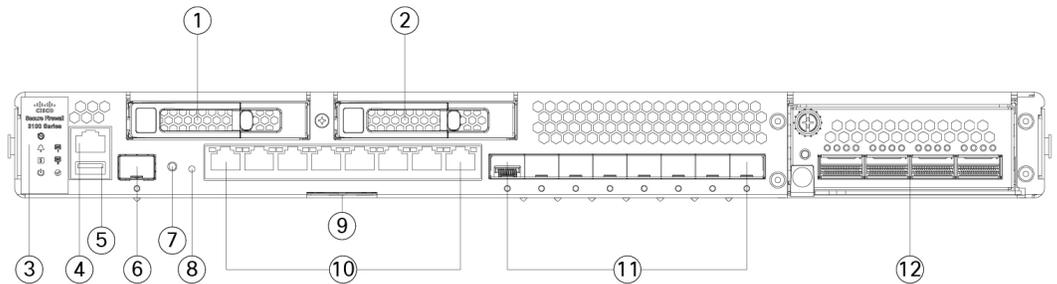


1	シャーシのモデル番号	2	シャーシのシリアル番号
3	ドキュメンテーションポータルQRコード		—

## 前面パネル

次の図は、Secure Firewall 3100 の前面パネルを示しています。LED の説明については、[前面パネル LED \(14 ページ\)](#) を参照してください。

図 5: Secure Firewall 3100 前面パネル



1	SSD-1	2	SSD-2
3	システム LED	4	RJ-45 コンソールポート
5	タイプ A USB 3.1 ポート	6	ギガビットイーサネット管理ポート: <ul style="list-style-type: none"> <li>Secure Firewall Threat Defense : 管理 0 (管理 1/1 および診断 1/1 と呼ばれます)</li> <li>ASA : 管理 1/1</li> </ul>
7	リセットボタン LED	8	埋め込み型ファクトリーリセットボタン
9	シャーシのシリアル番号、スタートアップガイド QR コード、および LTP QR コードが記載されたアセットカードを引き出します	10	固定銅線 SFP ポート (NM-1) 銅線 SFP ポート (左から右に、イーサネット 1/1 ~ 1/8)
11	固定ファイバ SFP ポート (NM-1) 光ファイバ SFP ポート (左から右に、イーサネット 1/9 ~ 1/16)	12	ネットワークモジュール (NM-2)

### 管理ポート

Secure Firewall 3100 シャーシ管理ポートは、1/10 Gb ファイバ SFP ポートです。

### RJ-45 コンソールポート

Secure Firewall 3100 シャーシには標準の RJ-45 コンソールポートが 1 つあります。ターミナルサーバーを使用するか、コンピュータ上で端末エミュレーションプログラムを使用することにより、RJ-45 シリアル コンソール ポートを介して、CLI から 3100 を設定できます。

RJ-45 (8P8C) ポートは、内部 UART コントローラにシグナリングする RS-232 をサポートします。コンソールポートはハードウェアフロー制御機能を備えておらず、リモート

ダイヤルインモデムもサポートしていません。ボーレートは9600です。必要に応じて、標準のケーブル（アクセサリキットに付属）を使用して、RJ-45をDB-9に変換できます。

### タイプ A USB 3.1 ポート

外部タイプ A の USB ポートを使用して、データストレージデバイスを接続できます。外部 USB ドライブ識別子は `usb:` です。タイプ A USB ポートは以下をサポートしています。

- ホットスワップ
- FAT32 でフォーマットされた USB ドライブ
- ディスカバリ/リカバリを目的とした ROMMON からのブートキックスタートイメージ
- `workspace:/` および `local-mgmt` 内の `volatile:/` への（からの）ファイルのコピー。最も関連があるファイルは次のとおりです。
  - コア ファイル
  - Ethalyzer のパケットキャプチャ
  - テクニカルサポート ファイル
  - セキュリティ モジュール ログ ファイル
- **download image usbA:** を使用したプラットフォームバンドルイメージのアップロード

タイプ A の USB ポートは、Cisco Secure Package (CSP) イメージのアップロードをサポートしていません。

### ネットワーク ポート

Secure Firewall 3100 シャーシには、次のネットワークモジュールをサポートするネットワークモジュールスロットがあります。

- 8 ポート 1/10 Gb SFP
- 8 ポート 1/10/25 Gb SFP
- 6 ポート 1 Gb SFP SX マルチモード ハードウェア バイパス
- 6 ポート 10 Gb SFP SR マルチモード ハードウェア バイパス
- 6 ポート 10 Gb SFP LR シングルモード ハードウェア バイパス
- 6 ポート 25 Gb SFP SR マルチモード ハードウェア バイパス
- 6 ポート 25 Gb SFP LR シングルモード ハードウェア バイパス
- 8 ポート 10/100/1000Base-T ハードウェア バイパス



---

(注) FTD 7.2.1 および ASA 9.18.2 で最初にサポートされました。

---

- 4 ポート 40 Gb QSFP



---

(注) FTD 7.2.1 および ASA 9.18.2 で最初にサポートされました。

---



---

(注) 4 ポート 40 Gb および 8 ポート 25 Gb のネットワークモジュールは 3130 と 3140 でのみサポートされます。

---

#### ファクトリー リセット ボタン

Secure Firewall 3100 シャーシには、システムを工場出荷時のデフォルトにリセットするリセットボタンが埋め込まれています。ボタンを5秒間押しすと、以前の設定はすべて消去されます。以下が実行されます。

- ROMMON NVRAM がクリアされ、デフォルトに戻ります。
- 余分な画像はすべて削除されます。現在実行中のイメージは残ります。
- FXOS ログ、コアファイル、SSH キー、証明書、FXOS 構成、および Apache 構成が削除されます。



---

(注) リセットボタンを押してからリセットプロセスが完了するまでの間に電源が切れた場合、プロセスは停止し、システムの電源を入れ直した後もう一度ボタンを押す必要があります。

---

#### 詳細情報

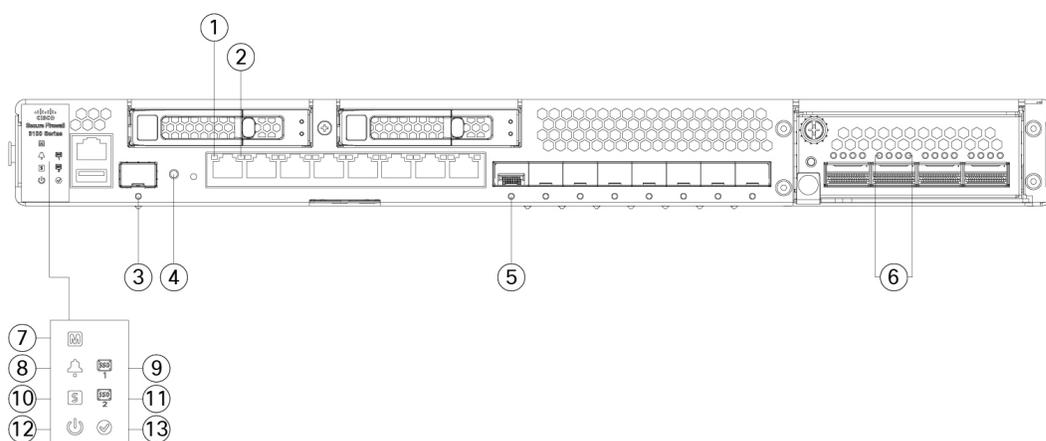
- SSD の取り外しと交換の手順については、「[SSD の取り外しと交換](#)」を参照してください。
- ネットワークモジュールのインストール手順については、「[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換](#)」を参照してください。
- ネットワークモジュールの詳細については、「[8 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール \(19 ページ\)](#)」を参照してください。
- ネットワークモジュールの詳細については、「[ハードウェアバイパス対応 6 ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュール \(28 ページ\)](#)」を参照してください。

- ネットワークモジュールの詳細については、「[ハードウェアバイパス対応 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール \(25 ページ\)](#)」を参照してください。
- ネットワークモジュールの詳細については、「[4 ポート 40 Gb ネットワークモジュール \(21 ページ\)](#)」を参照してください。

## 前面パネル LED

次の図は、Secure Firewall 3100 の前面パネル LED を示しています。

図 6: Secure Firewall 3100 の前面パネルの LED



<p><b>1 RJ-45 銅線ポートのリンクステータス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：リンクなし。</li> <li>• 緑：リンクはアクティブです。</li> </ul>	<p><b>2 RJ-45 銅線ポートのアクティビティステータス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：アクティビティはありません。</li> <li>• 緑（点滅）：点滅の回数によってリンク速度を判断できます（1回=10Mb、2回=100 Mb、3回=1 Gb）。</li> </ul>
--	---

3	<b>管理ポートのステータス</b> 1/10Gbファイバ管理ポートには、SFP ケー ジの下に2色のLEDがあり、リンク/アク ティビティ/障害を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：SFP なし。</li> <li>• 緑：リンク アップ。</li> <li>• 緑（点滅）：ネットワーク アクティ ビティ。</li> <li>• オレンジ色：SFPは存在するが、リン クが存在しない。</li> </ul>	4	<b>工場出荷時設定ボタンの状態</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑の点滅：ボタンを押してから5秒後 に点滅します。</li> <li>• 消灯：リセットが完了しました。</li> </ul>
5	<b>ファイバポートリンク/アクティビティス テータス</b> 各ファイバポートには、SFP ケー ジの下に1つのデュアルカラー LED があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：SFP なし。</li> <li>• 緑：リンク アップ。</li> <li>• 緑（点滅）：1G を超えるネットワー クアクティビティが検出されました。</li> <li>• オレンジ：リンクなし、またはネット ワーク障害。</li> </ul>	6	<b>ネットワークモジュール2のポートステ ータス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑：ポートは有効になっていて、リン ク パートナーが検出されました。</li> <li>• オレンジ：ポートは有効になっていま すが、リンク パートナーが検出され ません。</li> <li>• 緑（点滅）：ポートは有効になってい ます。ネットワーク アクティビティ が検出されました。</li> </ul>
7	<b>管理ステータス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑でゆっくり点滅（5秒で2回）：ク ラウドに接続されています。</li> <li>• 緑とオレンジで点滅：クラウド接続障 害。</li> <li>• 緑：クラウド接続が解除されていま す。</li> </ul> <p>(注) LTP の詳細については、  <a href="#">『1000、2100、および3100シ          リーズの Cisco Secure Firewalls          簡単導入ガイド』</a>を参照して          ください。</p>	8	<b>アラームステータス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：アラームがありません。</li> <li>• オレンジ：環境エラーです。</li> <li>• 緑：ステータスは正常です。</li> </ul>

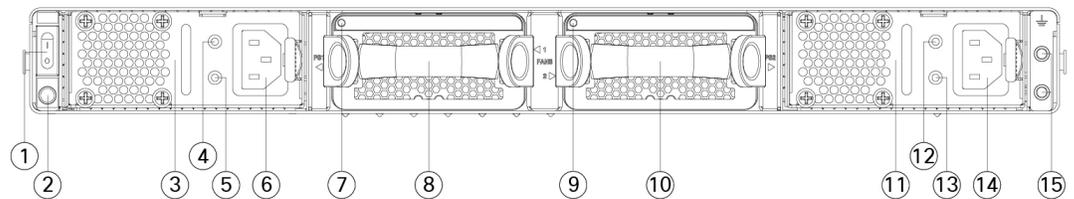
<p><b>9 SSD 1 ステータス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ：SSD がありません。</li> <li>• 緑：SSD はありますが、アクティビティがありません。</li> <li>• 緑（点滅）：SSD はアクティブです。</li> <li>• オレンジ：SSD に問題または障害があります。</li> </ul>	<p><b>10 システム ステータス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：システムがまだ起動していません。</li> <li>• 緑ですばやく点滅：システムが起動中です。</li> <li>• 緑色：システムが正常に機能している。</li> <li>• オレンジ：システムの起動が失敗しました。</li> <li>• オレンジ（点滅）：アラーム状態です。システムは点検または対応が必要で、正しく起動しない可能性があります。</li> </ul>
<p><b>11 SSD 2 ステータス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ：SSD がありません。</li> <li>• 緑：SSD はありますが、アクティビティがありません。</li> <li>• 緑（点滅）：SSD はアクティブです。</li> <li>• オレンジ：SSD に問題または障害があります。</li> </ul>	<p><b>12 電源ステータス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ：入力電源が検出されていません。AC 電源コードが差し込まれていて、電源装置の LED が緑色に点滅している場合、スタンバイ電源はオンのままです。</li> <li>• 緑（点滅）：システムが電源スイッチのトグル イベントを検出し、シャットダウンシーケンスを開始しました。電源スイッチがオフの位置にある場合、シャットダウンが完了した後、システムの電源がオフになります。システムがグレースフル シャットダウンを実行する時間を確保するために、この LED が点滅している間は AC または DC 電源を取り外さないでください。</li> <li>• オレンジ：システムの電源が入っています（BIOS 起動前）。最長で 1～5 秒かかります。</li> <li>• 緑：システムの電源が完全に入っています。</li> </ul>

13	<p><b>アクティビティステータス</b>（高可用性ペアの役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフ：装置が高可用性ペアで設定されていないか、有効になっていません。</li> <li>・緑：装置はアクティブモードです。</li> <li>・オレンジ：装置はスタンバイモードです。</li> </ul>	—
----	--	---

## 背面パネル

次の図は、Secure Firewall 3100 の背面パネルを示しています。

図 7: Secure Firewall 3100 背面パネル



1	電源オン/オフ スイッチ	2	<p>下の電源 LED</p> <p>(注) この電源 LED の動作は、前面パネルの LED と同じです。詳細については、<a href="#">前面パネル LED (14 ページ)</a> を参照してください。</p>
3	電源モジュール 1	4	電源モジュール 1 障害 LED
5	電源モジュール 1 OK LED	6	電源モジュール 1 コネクタ
7	デュアルファンモジュール 1 LED	8	デュアルファンモジュール 1
9	デュアルファンモジュール 2 LED	10	デュアルファンモジュール 2
11	電源モジュール 2	12	電源モジュール 2 障害 LED
13	電源モジュール 2 OK LED	14	電源モジュール 2 コネクタ

15	<p>2 本支柱型のアースパッド</p> <p>(注) アクセサリキットには、2本支柱型のアースラグと2本のネジが含まれています。</p>	—
----	---	---

### 電源スイッチ

電源スイッチは、シャーシの背面の電源モジュール1の左にあります。これはシステムへの電源を制御するトグルスイッチです。電源スイッチがオフになっているが、電源コードが差し込まれ、電源装置が緑色に点滅している場合、システムはスタンバイ位置にあり、電源装置モジュールから3.3Vのスタンバイ電源のみが有効になります。12Vの主電源がOFFになっています。スイッチがオンの位置にある場合は、12Vの主電源がオンになり、システムが起動します。

電源スイッチをオフの位置に動かす前に、システムがグレースフルシャットダウンを実行できるように **shutdown** コマンドを使用します。終了するまでに数分かかる場合があります。グレースフルシャットダウンが完了すると、コンソールにはすぐに電源オフすると安全ですと表示されます。前面パネルの PWR LED が一瞬点滅して消灯するまで待ってから、AC 電源を取り外します。

PWR LED の説明については、「[前面パネル LED \(14 ページ\)](#)」を参照してください。**shutdown** コマンドの使用法の詳細については、『[FXOS コンフィギュレーションガイド](#)』を参照してください。



**注意** 正常なシャットダウンが完了する前にシステムの電源コードを取り外すと、ディスクが破損する可能性があります。シャットダウンする前に電源スイッチを OFF にすることができます。システムはそれを無視します。



(注) 電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。待機電力を含め、システムの電源を 10 秒間オフしておく必要があります。

### 詳細情報

- Secure Firewall 3100 の電源モジュールの取り外しと交換の手順については、「[電源モジュールの取り外しと交換](#)」を参照してください。
- Secure Firewall 3100 のデュアルファンモジュールの取り外しと交換の手順については、「[デュアルファンモジュールの取り外しと交換](#)」を参照してください。
- アース ラグを使用してシャーシを接地する手順については、[シャーシの接地](#) を参照してください。
- 電源モジュールの LED については、[電源モジュール \(32 ページ\)](#) を参照してください。

- ファンの LED については、[デュアルファンモジュール \(34 ページ\)](#) を参照してください。

## 8 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール

Cisco Secure Firewall 3100 シャーシには、NM-2 という名前のネットワーク モジュール スロットが1つと、。ネットワークモジュールは、追加のポートまたは異なるインターフェイスのタイプを提供する、オプションの取り外し可能な I/O モジュールです。ネットワークモジュールは、前面パネルのシャーシに接続します。シャーシのネットワークモジュールスロットの位置については、「[前面パネル \(10 ページ\)](#)」と「」を参照してください。

FPR-X-NM-8X10G は、ポートごとに 1 Gb および 10 Gb の全二重イーサネットトラフィックをサポートし、すべての Cisco Secure Firewall 3100s でサポートされます。FPR-X-NM-8X25G は、ポートごとに 1 Gb、10 Gb、または 25 Gb の全二重イーサネットトラフィックをサポートし、3130 および 3140 でのみサポートされます。

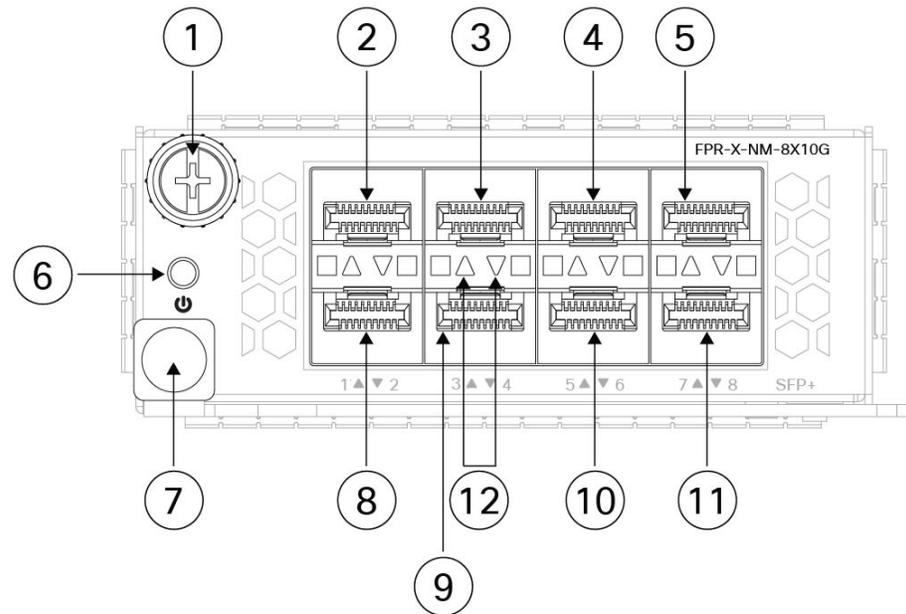
上部のポートには、左から右に、イーサネット 2/1、イーサネット 2/3、イーサネット 2/5、およびイーサネット 2/7 という番号が付けられています。下部のポートには、左から右に、イーサネット 2/2、イーサネット 2/4、イーサネット 2/6、およびイーサネット 2/8 という番号が付けられています（下の図を参照）。上向き矢印は上部のポートで、下向き矢印は下部のポートです（下の図を参照）。このネットワークモジュールは、SFP/SFP+/SFP28 トランシーバをサポートします。シスコがサポートするトランシーバのリストについては、「[サポート対象の SFP/SFP+/QSFP+ トランシーバ \(37 ページ\)](#)」を参照してください。



- (注) ネットワークモジュールを同じタイプのネットワークモジュールと交換する場合、ハードウェアとシステムはホットスワップをサポートします。最初にネットワークポートを無効にしてから、交換後に再度有効にする必要があります。8 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュールをサポートされている別のネットワークモジュールと交換する場合は、新しいネットワークモジュールが認識されるように、シャーシを再起動する必要があります。ネットワークモジュールを管理するための詳細な手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。

次の図に、1/10 Gb と 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの前面パネルを示します。

図 8: 8ポート 1/10 Gb (FPR-X-NM-8X10G) および 8ポート 1/10/25 Gb (FPR-X-NM-8X25G) ネットワークモジュール



1	非脱落型ネジ	2	イーサネット 2/1
3	イーサネット 2/3	4	イーサネット 2/5
5	イーサネット 2/7	6	電源オン LED
7	イジェクトハンドル	8	イーサネット 2/2
9	イーサネット 2/4	10	イーサネット 2/6
11	イーサネット 2/8	12	ネットワーク アクティビティ LED 上向き矢印は上部のポートを表し、下向き矢印は下部のポートを表します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：SFP なし。</li> <li>オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。</li> <li>緑：リンク アップ。</li> <li>緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul>

## 詳細情報

- 40 Gb ネットワーク モジュールの説明については、[4ポート 40 Gb ネットワークモジュール \(21 ページ\)](#) を参照してください。

- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[ハードウェアバイパス対応 6ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュール \(28 ページ\)](#)」を参照してください。
- 10/100/1000Base-T ネットワークモジュールの説明については、「[ハードウェアバイパス対応 8ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール \(25 ページ\)](#)」を参照してください。
- ネットワークモジュールの取り外しと交換の手順については、[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換](#)を参照してください。

## 4ポート 40 Gb ネットワークモジュール

Cisco Secure Firewall 3100 シャーシには、NM-2 という名前のネットワークモジュール スロットが1つと、。ネットワークモジュールは、追加のポートまたは異なるインターフェイスのタイプを提供する、オプションの取り外し可能な I/O モジュールです。ネットワークモジュールは、前面パネルのシャーシに接続します。シャーシのネットワークモジュール スロットの位置については、「[前面パネル \(10 ページ\)](#)」と「」を参照してください。

FPR-X-NM-4X40G は 40 Gb 操作をサポートし、3130 および 3140 でサポートされます。このネットワークモジュールは、ポートごとに全二重イーサネットトラフィックを提供します。40 Gb ネットワークモジュールには 4 つの QSFP+ ポートがあります。40 Gb ポートには、左から右に、イーサネット 2/1 からイーサネット 2/4 までの番号が付けられています。シスコがサポートするトランシーバのリストについては、「[サポート対象の SFP/SFP+/QSFP+ トランシーバ \(37 ページ\)](#)」を参照してください。

FTD 7.2 および ASA 7.18.1 以降では、サポートされているブレイクアウトケーブルを使用して、4 つの 40 Gb ポートをそれぞれ 4 つの 10 Gb ポートに分割できます (ブレイクアウトケーブルの一覧については [サポート対象の SFP/SFP+/QSFP+ トランシーバ \(37 ページ\)](#) を参照してください) 。4 ポートの 40 Gb ネットワークモジュールを使用すると、16 の 10 Gb インターフェイスがあります。追加されるインターフェイスは、イーサネット 2/1/1 からイーサネット 2/1/4、です。



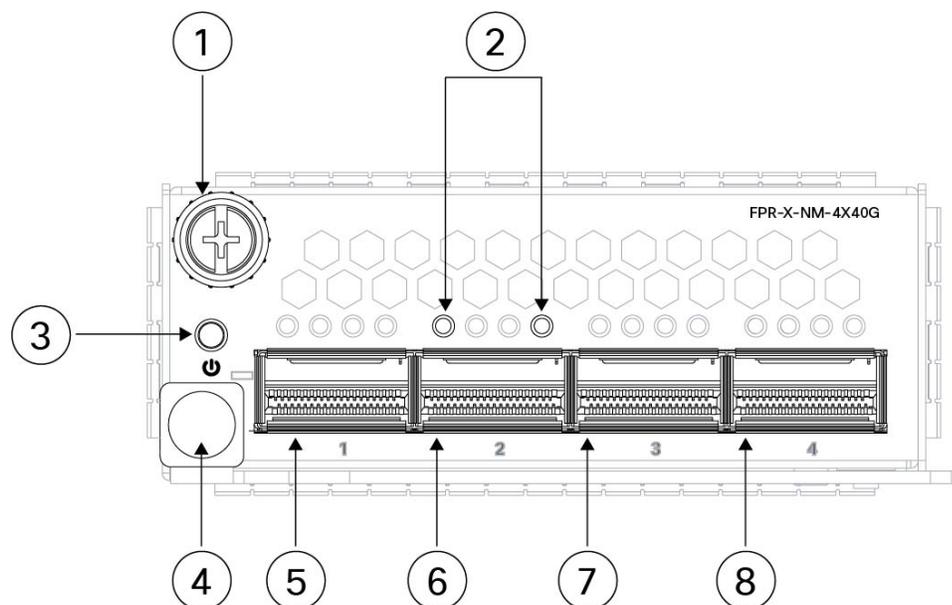
- (注) ネットワークモジュールを同じタイプのネットワークモジュールと交換する場合、ハードウェアとシステムはホットスワップをサポートします。4ポート 40 Gb ネットワークモジュールをサポートされている別のネットワークモジュールと交換する場合は、新しいネットワークモジュールが認識されるように、シャーシを再起動する必要があります。ネットワークモジュールを管理するための詳細な手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。



- (注) Secure Firewall 3105、3110、および 3120 に 4ポート 40 Gb ネットワークをインストールすることはできますが、サポートされていないため、ソフトウェアはそれを認識しません。

次の図は、4ポート 40 Gb ネットワークモジュールの前面パネルを示しています。

図 9: 4ポート 40 Gb ネットワークモジュール (FPR-X-NM-4X40G)



1	非脱落型ネジ	2	ネットワーク アクティビティ LED 上向き矢印は上部のポートを表し、下向き矢印は下部のポートを表します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：SFP なし。</li> <li>オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。</li> <li>緑：リンクはアクティブです。</li> <li>緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul>
3	電源オン LED	4	イジェクタハンドル
5	イーサネット 2/1	6	イーサネット 2/2
7	イーサネット 2/3	8	イーサネット 2/4

#### 詳細情報

- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[8ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール \(19 ページ\)](#)」を参照してください。
- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[ハードウェアバイパス対応 6ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュール \(28 ページ\)](#)」を参照してください。

- 1 Gb ネットワーク モジュールの説明については、[ハードウェアバイパス対応 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール \(25 ページ\)](#) を参照してください。
- ネットワーク モジュールの取り外しと交換の手順については、[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換](#)を参照してください。

## 2ポート 100 Gb ネットワークモジュール

Cisco Secure Firewall 3100 シャーシには、NM-2 という名前のネットワーク モジュール スロットが1つと、。ネットワークモジュールは、追加のポートまたは異なるインターフェイスのタイプを提供する、オプションの取り外し可能な I/O モジュールです。ネットワークモジュールは、前面パネルのシャーシに接続します。シャーシのネットワーク モジュール スロットの位置については、[前面パネル \(10 ページ\)](#) を参照してください。

FPR-X-NM-2X100G は 40/100 Gb 操作をサポートしており、3130 および 3140 でサポートされています。このネットワークモジュールには 2 つの QSFP/QSFP28 ポートがあり、ポートごとに全二重イーサネットトラフィックを提供します。サポートされる最大帯域幅は 200 Gb 全二重で、各ポートは 100 Gb で動作します。100 Gb ポートには、左から右に、イーサネット 2/1 からイーサネット 2/2 までの番号が付けられています。シスコがサポートするトランシーバのリストについては、「[サポート対象の SFP/SFP+/QSFP+ トランシーバ \(37 ページ\)](#)」を参照してください。

サポートされているブレイクアウトケーブルを使用して、各 100 Gb ポートを 4 つの 10 Gb または 25 Gb ポートに分割できます。2ポート 100 Gb ネットワークモジュールでは、8 個の 10 Gb または 25 Gb インターフェイスがあることとなります。追加されるインターフェイスは、イーサネット 2/1/1 からイーサネット 2/1/8 です。



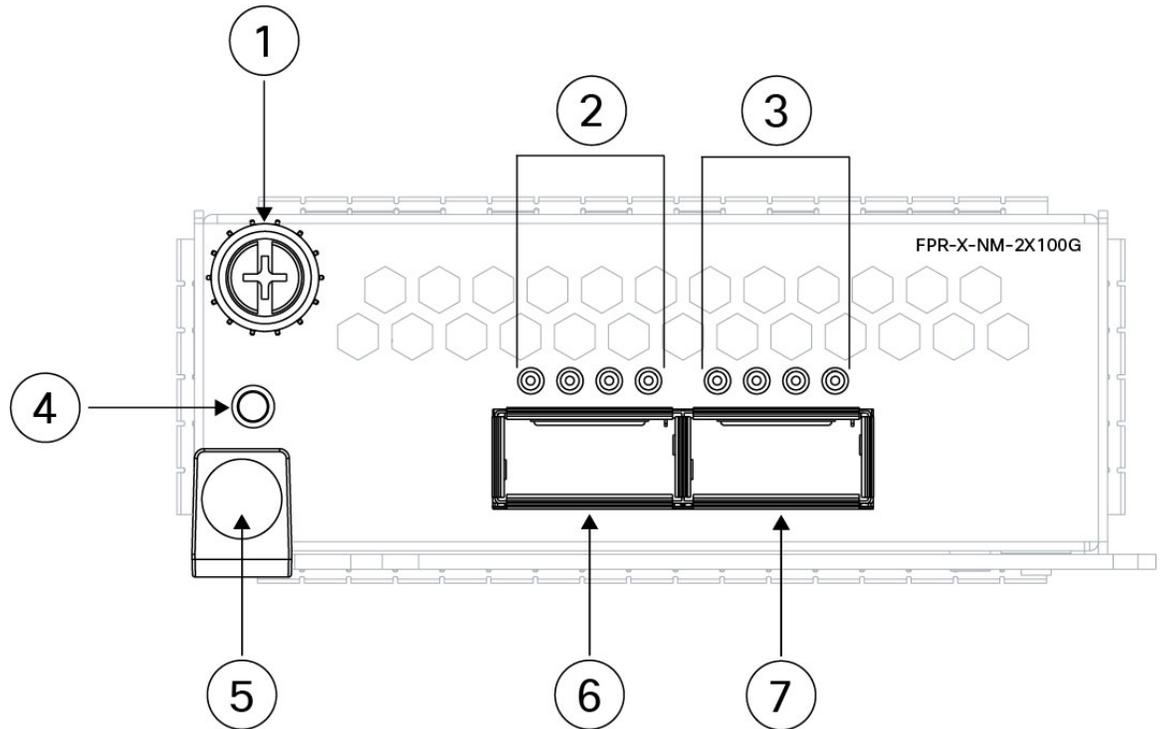
- (注) ネットワークモジュールを同じタイプのネットワークモジュールと交換する場合、ハードウェアとシステムはホットスワップをサポートします。100 Gb ネットワークモジュールをサポートされている別のネットワークモジュールと交換する場合は、新しいネットワークモジュールが認識されるように、シャーシを再起動する必要があります。ネットワークモジュールを管理するための詳細な手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。



- (注) Cisco Secure Firewall 3105、3110、および 3120 に 2ポート 100 Gb ネットワークモジュールをインストールすることはできますが、サポートされていないため、ソフトウェアはそれを認識しません。

次の図は、2ポート 100 Gb ネットワークモジュールの前面パネルを示しています。

図 10: 2ポート 100 Gb ネットワークモジュール (FPR-X-NM-2X100G)



1	非脱落型ネジ	2 ネットワーク アクティビティ LED <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：SFP なし。</li> <li>• オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。</li> <li>• 緑：リンクはアクティブです。</li> <li>• 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul>
3	ネットワーク アクティビティ LED <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：SFP なし。</li> <li>• オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。</li> <li>• 緑：リンクはアクティブです。</li> <li>• 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul>	4 電源オン LED
5	イジェクタハンドル	6 イーサネット 2/1

7	イーサネット 2/2	—
---	------------	---

### 詳細情報

- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[8 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール \(19 ページ\)](#)」を参照してください。
- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[ハードウェアバイパス対応 6 ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュール \(28 ページ\)](#)」を参照してください。
- 1 Gb ネットワークモジュールの説明については、[ハードウェアバイパス対応 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール \(25 ページ\)](#) を参照してください。
- ネットワークモジュールの取り外しと交換の手順については、[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換](#)を参照してください。

## ハードウェアバイパス対応 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール

Cisco Secure Firewall 3100 シャーシには、NM-2 という名前のネットワークモジュールスロットが1つと、。ネットワークモジュールは、追加のポートまたは異なるインターフェイスのタイプを提供する、オプションの取り外し可能な I/O モジュールです。ネットワークモジュールは、前面パネルのシャーシに接続します。シャーシのネットワークモジュールスロットの位置については、「[前面パネル \(10 ページ\)](#)」と「」を参照してください。

FPR3K-XNM-8X1GF は、8 ポート 10/100/1000Base-T ハードウェアバイパス ネットワークモジュールです。8つのポートの番号付けは、上から下、左から右という順序になっています。ポート 1 と 2、3 と 4、5 と 6、および 7 と 8 は、ハードウェアバイパスモード用にペアになっています。ハードウェアバイパスモードでは、データは Secure Firewall 3100 によって処理されませんが、ペアになっているポートにルーティングされます。

ハードウェアバイパス (Fail-to-Wire と呼ばれる) は、ソフトウェアが介入することなく、ハードウェアによってポートペア間のパケットを転送できるようにするために、ペアリングしたインターフェイスをバイパスモードにできる物理層 (レイヤ1) のバイパスです。ハードウェアバイパスは、ソフトウェアまたはハードウェアの障害時にネットワーク接続を提供します。ハードウェアバイパスは、安全なファイアウォールがトラフィックの監視またはロギングのみを行っているポートで役立ちます。ハードウェアバイパス ネットワークモジュールには、必要な場合に 2 つのポートを接続できるスイッチがあります。



(注) ハードウェアバイパスは脅威防御でのみサポートされますが、これらのモジュールは脅威防御または ASA の非バイパスモードで使用できます。

ハードウェアバイパスは、固定の一連のポートでのみサポートされます。たとえば、ポート 1 はポート 2 と、ポート 3 はポート 4 とペアリングできますが、ポート 1 をポート 4 とペアリングすることはできません。



(注) アプライアンススイッチを通常の運用からハードウェアバイパスに切り替えたとき、またはハードウェアバイパスから通常の運用に戻したときに、トラフィックが数秒間中断する可能性があります。中断時間の長さに影響を与える可能性があるいくつかの要因があります。たとえば、リンクエラーやデバウンスのタイミングをどのように処理するかなどのリンクパートナーの動作、スパンニングツリープロトコルのコンバージェンス、ダイナミックルーティングプロトコルのコンバージェンスなどです。この間は、接続が落ちることがあります。



(注) ハードウェアバイパス対応とハードウェアバイパス非対応のインターフェイスを組み合わせで搭載しているインラインインターフェイスがある場合、このインラインインターフェイスセットではハードウェアバイパスを有効にすることはできません。インラインセットのすべてのペアが有効なハードウェアバイパスのペアである場合にのみ、インラインインターフェイスセットのハードウェアバイパスを有効にすることができます。



(注) 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュールは FTD 7.2.3 および ASA 9.18.2 以降でサポートされます。



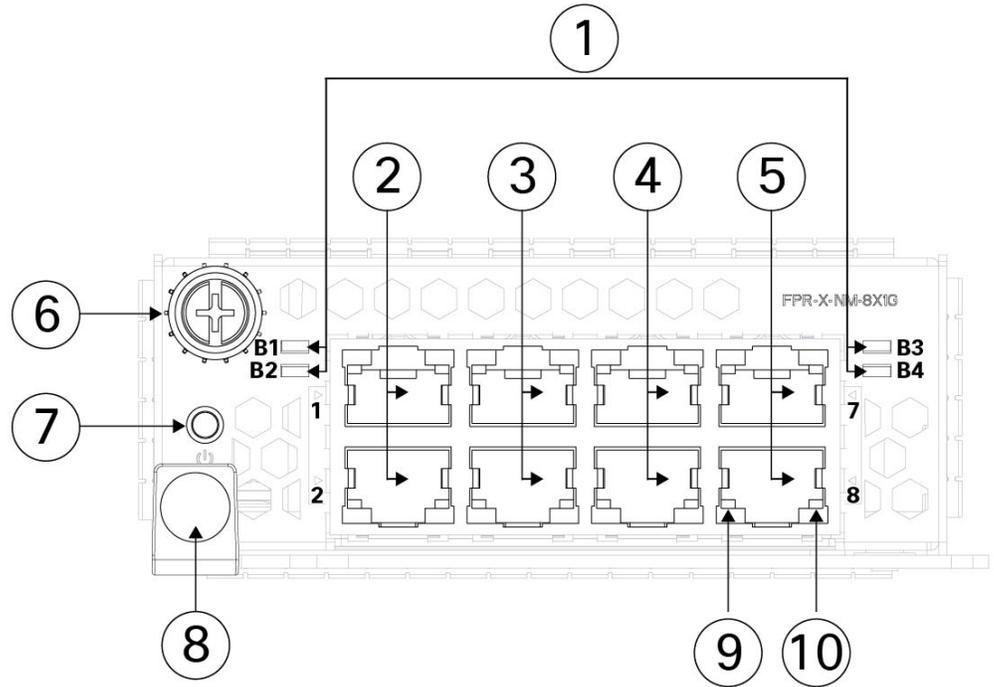
(注) ネットワークモジュールを同じタイプのネットワークモジュールと交換する場合、ハードウェアとシステムはホットスワップをサポートします。8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュールをサポートされている別のネットワークモジュールと交換する場合は、新しいネットワークモジュールが認識されるように、シャシを再起動する必要があります。ネットワークモジュールを管理するための詳細な手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。



(注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージの更新とソフトウェアバージョンの確認の手順については、ソフトウェアコンフィギュレーションガイドを参照してください。サポート対象の各バージョンについて、オペレーティングシステムとホスティング環境の要件を含めた Cisco ソフトウェアとハードウェアの互換性を提供する、『Cisco Secure Firewall Threat Defense Compatibility Guide』と『Cisco Secure Firewall ASA Compatibility』を参照してください。

次の図に、8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュールの前面パネルを示します。

図 11: 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール (FPR-X-NM-8X1GF)



1	B1 から B4 までのバイパス LED <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑：スタンバイ モード。</li> <li>• オレンジ（点滅）：ポートがハードウェアバイパスモード（障害イベント）。</li> </ul>	2	イーサネット 2/1 およびイーサネット 2/2 ポート 1 および 2 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B1 は、このペアリングされたポートに適用されます。
3	イーサネット 2/3 およびイーサネット 2/4 ポート 3 および 4 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B2 は、このペアリングされたポートに適用されます。	4	イーサネット 2/5 およびイーサネット 2/6 ポート 5 および 6 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B3 は、このペアリングされたポートに適用されます。
5	イーサネット 2/7 およびイーサネット 2/8 ポート 7 および 8 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B4 は、このペアリングされたポートに適用されます。	6	非脱落型ネジ
7	電源 LED	8	ハンドル

<p><b>9</b> 左側のポート LED</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：接続なし、またはポート未使用。</li> <li>• 緑：リンク アップ。</li> <li>• 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul>	<p><b>10</b> 右側のポート LED</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯：接続なし、またはポート未使用。</li> <li>• 緑：リンク アップ。</li> <li>• 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。</li> </ul>
--	---

### 詳細情報

- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[ハードウェアバイパス対応 6 ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュール \(28 ページ\)](#)」を参照してください。
- 40 Gb ネットワーク モジュールの説明については、[4 ポート 40 Gb ネットワークモジュール \(21 ページ\)](#) を参照してください。
- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[8 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール \(19 ページ\)](#)」を参照してください。
- ネットワークモジュールの取り外しと交換の手順については、[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換](#)を参照してください。

## ハードウェアバイパス対応 6 ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュール

Cisco Secure Firewall 3100 シャーシには、NM-2 という名前のネットワーク モジュール スロットが1つと、。ネットワークモジュールは、追加のポートまたは異なるインターフェイスのタイプを提供する、オプションの取り外し可能な I/O モジュールです。ネットワークモジュールは、前面パネルのシャーシに接続します。シャーシのネットワーク モジュール スロットの位置については、「[前面パネル \(10 ページ\)](#)」と「」を参照してください。

FPR-X-NM-6X1SXF、FPR-X-NM-6X10SRF、FPR-X-NM-6X10LRF、FPR-X-NM-6X25SRF、および FPR-X-NM-6X25LRF ハードウェアバイパス ネットワーク モジュールには、上から下、左から右に番号が付けられた 6 つのポートがあります。ハードウェアバイパスのペアセットを形成するには、ポート 1 と 2、3 と 4、および 5 と 6 をペアリングします。ハードウェアバイパスモードでは、データは Secure Firewall 3100 によって処理されませんが、ペアになっているポートにルーティングされます。このネットワークモジュールには、SPF トランシーバが組み込まれています。トランシーバのホットスワップおよびフィールド交換はサポートされていません。

ハードウェアバイパス (Fail-to-Wire と呼ばれる) は、ソフトウェアが介入することなく、ハードウェアによってポートペア間のパケットを転送できるようにするために、ペアリングしたインターフェイスをバイパスモードにできる物理層 (レイヤ1) のバイパスです。ハードウェア

アバイパスは、ソフトウェアまたはハードウェアの障害時にネットワーク接続を提供します。ハードウェアバイパスは、安全なファイアウォールがトラフィックの監視またはロギングのみを行っているポートで役立ちます。ハードウェアバイパス ネットワーク モジュールには、必要な場合に 2 つのポートを接続できるスイッチがあります。このハードウェアバイパス ネットワーク モジュールには、組み込みの SFP があります。



- (注) ハードウェアバイパスは脅威防御でのみサポートされますが、これらのモジュールは脅威防御または ASA の非バイパスモードで使用できます。

ハードウェアバイパスは、固定の一連のポートでのみサポートされます。たとえば、ポート 1 はポート 2 と、ポート 3 はポート 4 とペアリングできますが、ポート 1 をポート 4 とペアリングすることはできません。



- (注) アプライアンススイッチを通常の運用からハードウェアバイパスに切り替えたとき、またはハードウェアバイパスから通常の運用に戻したときに、トラフィックが数秒間中断する可能性があります。中断時間の長さに影響を与える可能性があるいくつかの要因があります。たとえば、リンクエラーやデバウンスのタイミングをどのように処理するかなどのリンクパートナーの動作、スパニングツリープロトコルのコンバージェンス、ダイナミックルーティングプロトコルのコンバージェンスなどです。この間は、接続が落ちることがあります。



- (注) ハードウェアバイパス対応とハードウェアバイパス非対応のインターフェイスを組み合わせで搭載しているインラインインターフェイスがある場合、このインラインインターフェイスセットではハードウェアバイパスを有効にすることはできません。インラインセットのすべてのペアが有効なハードウェアバイパスのペアである場合にのみ、インラインインターフェイスセットのハードウェアバイパスを有効にすることができます。



- (注) 6 ポート 1 Gb SX/10 Gb SR/10 Gb LR/25 Gb SR/25 Gb LR ネットワークモジュールは、FTD 7.2.3 および ASA 9.18.2 以降でサポートされます。



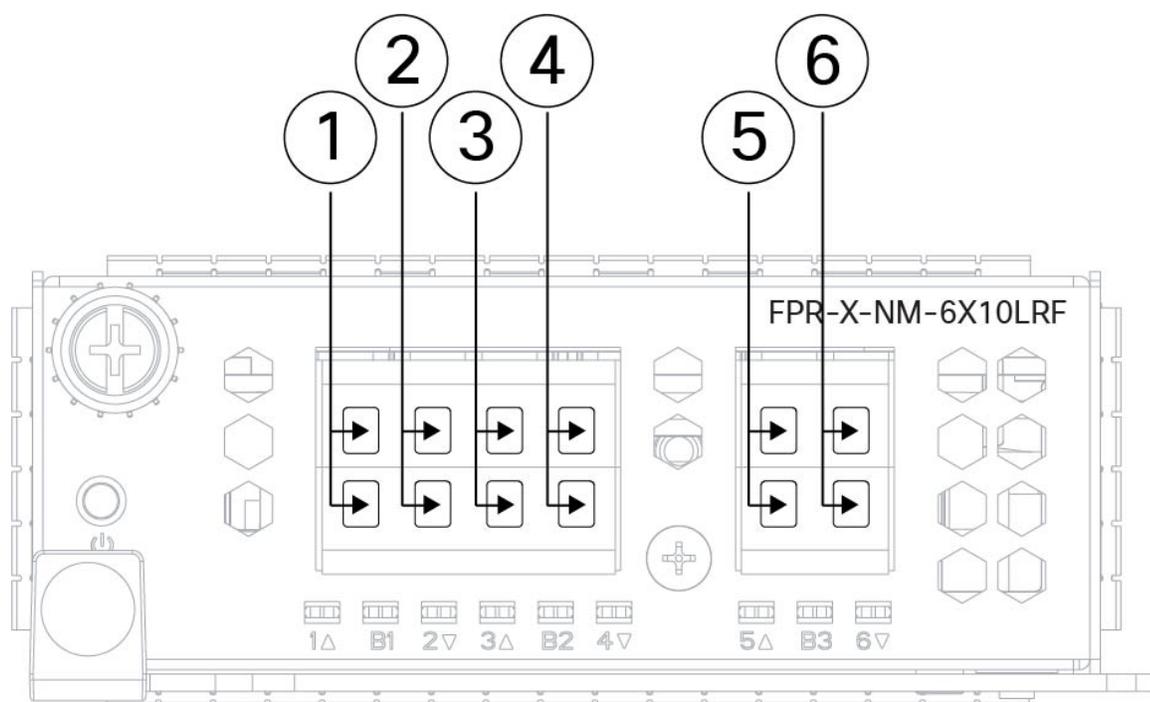
- (注) ネットワークモジュールを同じタイプのネットワークモジュールと交換する場合、ハードウェアとシステムはホットスワップをサポートします。6 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュールをサポートされている別のネットワークモジュールと交換する場合は、新しいネットワークモジュールが認識されるように、シャーシを再起動する必要があります。ネットワークモジュールを管理するための詳細な手順については、オペレーティングシステムの設定ガイドを参照してください。



- (注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンを確認する手順については、ソフトウェアのコンフィギュレーションガイドを参照してください。サポート対象の各バージョンについて、オペレーティングシステムとホスティング環境の要件を含めたシスコのソフトウェアとハードウェアの互換性を提供する、『Cisco Secure Firewall Threat Defense Compatibility Guide』と『Cisco Secure Firewall ASA Compatibility』を参照してください。

次の図は、6ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの前面パネルを示しています。

図 12: 6ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール (FPR-X-NM-6X1SXF、FPR-X-NM-6X10SRF、FPR-X-NM-6X10LRF、FPR-X-NM-6X25SRF、および FPR-X-NM-6X25LRF)



<p><b>1</b> イーサネット 2/1 (上のポート) イーサネット 2/2 (下のポート) ポート 1 および 2 がペアリングされてハードウェア バイパス ペアを形成します。</p>	<p><b>2</b> イーサネット 2/3 (上のポート) イーサネット 2/4 (下のポート) ポート 3 および 4 がペアリングされてハードウェア バイパス ペアを形成します。</p>
<p><b>3</b> イーサネット 2/5 (上のポート) イーサネット 2/6 (下のポート) ポート 5 および 6 がペアリングされてハードウェア バイパス ペアを形成します。</p>	<p><b>4</b> イーサネット 2/7 (上のポート) イーサネット 2/8 (下のポート) ポート 7 および 8 がペアリングされてハードウェア バイパス ペアを形成します。</p>

5	イーサネット 2/9 (上のポート) イーサネット 2/10 (下のポート) ポート 9 および 10 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。	6	イーサネット 2/11 (上のポート) イーサネット 2/12 (下のポート) ポート 11 および 12 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。
7	B1 から B3 までのバイパス LED:  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯: バイパスモードが無効になっています。</li> <li>• 緑: ポートはスタンバイモードです。</li> <li>• オレンジ (点滅): ポートがハードウェアバイパスモード (障害イベント)。</li> </ul>	8	非脱落型ネジ
9	電源 LED	10	ハンドルエジェクタ
11	6つのネットワークアクティビティ LED:  <ul style="list-style-type: none"> <li>• オレンジ: 接続なし、ポートが未使用、リンクなし、またはネットワーク障害。</li> <li>• 緑: リンクアップ、ネットワークアクティビティなし。</li> <li>• 緑 (点滅): ネットワークアクティビティ。</li> </ul>		—

#### 詳細情報

- 1 Gb ネットワークモジュールの説明については、[ハードウェアバイパス対応 8 ポート 10/100/1000Base-T ネットワークモジュール \(25 ページ\)](#) を参照してください。
- 1/10/25 Gb ネットワークモジュールの説明については、「[8 ポート 1/10/25 Gb ネットワークモジュール \(19 ページ\)](#)」を参照してください。
- 40 Gb ネットワークモジュールの説明については、[4 ポート 40 Gb ネットワークモジュール \(21 ページ\)](#) を参照してください。
- ネットワークモジュールの取り外しと交換の手順については、[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換](#)を参照してください。

# 電源モジュール

Secure Firewall 3100 電源モジュールに関連付けられる PID の一覧については、[製品 ID 番号 \(41 ページ\)](#) を参照してください。



(注) シャーシ内で AC 電源モジュールと DC 電源モジュールを混在させることはできません。



(注) 電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。待機電力を含め、システムの電源を 10 秒間オフにしておく必要があります。



注目 1 つの電源モジュールが常にアクティブであることを確認してください。



(注) システムの所要電力は、電源モジュールの能力よりも低いです。次の表を参照してください。

## AC 電源装置

デュアル電源は、入力電圧範囲全体で最大 800 W の電力を供給できます。両方の電源モジュールを接続して同時に動作させると、負荷が共有されます。



(注) システムが 1 つの電源モジュールの容量以上を消費することはないため、2 つの電源モジュールが設置されている場合は常に完全冗長モードで動作します。

表 2: AC 電源モジュールのハードウェア仕様

入力電圧	100 ~ 240 VAC
最大入力電流	200 VAC で 3 A 未満 100 VAC で 6 A 未満
最大出力	400 W
周波数	50 ~ 60 Hz
電源効率	85 % (負荷 50 %)

冗長性	デュアル電源モジュールによる 1+1 の冗長性
-----	-------------------------

### DC 電源

電源は、入力電圧範囲全体で最大800Wの電力を供給できます。両方の電源モジュールを接続して同時に動作させると、負荷が共有されます。



- (注) システムが1つの電源モジュールの容量以上を消費することはないため、2つの電源モジュールが設置されている場合は常に完全冗長モードで動作します。

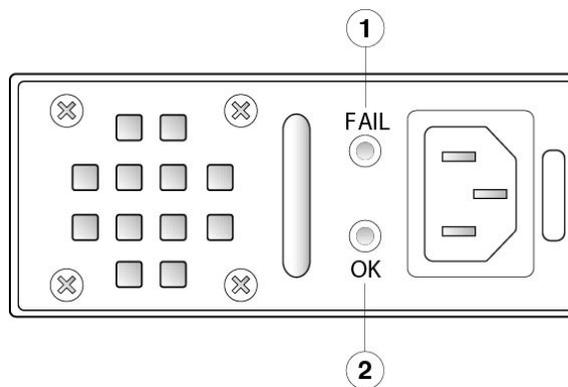
表 3: DC 電源モジュールのハードウェア仕様

入力電圧	-48 ~ -60 VDC
最大入力電流	< 15 A (-48 V で)
冗長性	デュアル電源モジュールによる 1+1 の冗長性
効率	> 88 % (負荷 50 %)

### 電源モジュールの LED

次の図は、電源モジュールの二色の電源 LED を示しています。図は、AC 電源モジュールを示しています。DC 電源モジュールには、同じ LED があります。

図 13: 電源モジュールの LED



<p><b>1 オレンジの FAIL LED</b></p> <p>障害 LED のステータス :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯 : 障害が検出されませんでした。</li> <li>• オレンジ (点滅) : 障害の警告、電源はまだ機能しているが、高温、ファンの故障、または過電流が原因で障害が発生する可能性がある。</li> <li>• オレンジ色 : 障害が検出されました。電源が正しく動作していません。(過電圧、過電流、過熱、ファン障害を含む)</li> </ul>	<p><b>2 緑の OK LED</b></p> <p>OK LED ステータス :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消灯 : 入力電源がありません。</li> <li>• 緑 (点滅) : 入力電源はあるが、システムの電源が入っていない (電源スイッチがオフになっている)。</li> <li>• 緑 : 電源モジュールが有効で、正常に動作しています。</li> </ul>
---	--

#### 詳細情報

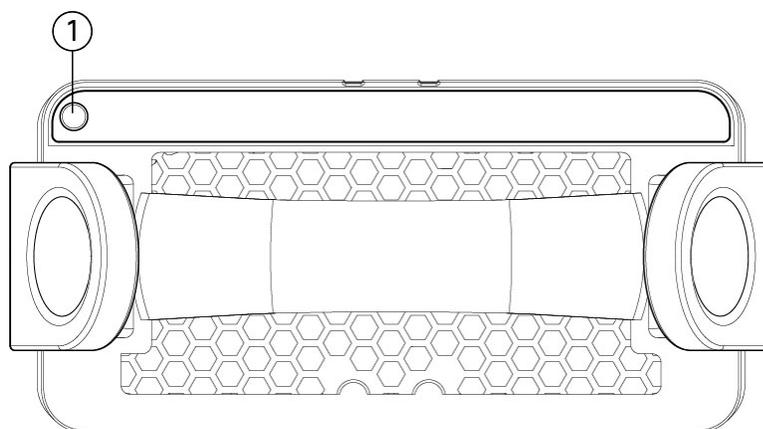
- Secure Firewall 3100 の電源モジュールの取り外しと交換の手順については、「[電源モジュールの取り外しと交換](#)」を参照してください。

## デュアルファンモジュール

Cisco Secure Firewall 3100 には、3+1 の冗長性を提供する 2 つのファンモジュールがあります。各ファンモジュールには 2 つのファンがあり、各ファンには 2 つの独立したファンローターがあります。ファンローターは個別にモニターされるため、システムごとに 8 つのファンローターがあることとなります。1 つのファンローターが故障すると、他のすべてが最大速度で回転するため、システムは引き続き機能します。デュアルファンモジュールはホットスワップ可能で、シャーシの背面に取り付けられています。

次の図は、ファンモジュールのファン LED の位置を示しています。

図 14: ファン LED



1	2色のLED
---	--------

ファンモジュールは、ファンの左上に1つの2色LEDを備えています。

- オフ：環境サブシステムはまだアクティブではありません。
- 緑：ファンは通常動作中。電源をオンにした後LEDステータスが緑に変わるまで1分程度かかることがあります。
- オレンジ：1つのファンが故障しました。システムは引き続き正常に動作できますが、ファンの点検が必要です。
- オレンジの点滅：2つ以上のファンに障害が発生しています。即時対応が必要です。

#### 詳細情報

- Secure Firewall 3100 ファンに関連するPIDのリストについては、「[製品ID番号 \(41 ページ\)](#)」を参照してください。
- デュアルファンモジュールの取り外しと交換の手順については、「[デュアルファンモジュールの取り外しと交換](#)」を参照してください。

## SSD

Secure Firewall 3100には2つのSSDスロットがあり、それぞれが1つのNVMe 900 GB SSDを保持します。デフォルトでは、Secure Firewall 3100は、スロット1に1つの900 GB SSDが取り付けられた状態で出荷されます。2番目のSSDスロットはソフトウェアRAID1用に予約されています。RAID1 SSDは構成済みの状態で出荷されます。2つのSSDがインストールされている場合、起動時にそれらがRAIDを形成します。

ホットスワップはサポートされていません。2つのSSDを使用すると、シャーシの電源を切らずにSSD-1を交換できます。ただし、ホットスワップの前に、**raid remove-secure local disk** コマンドを発行して、RAID構成からSSD-2を削除する必要があります。そうしないと、データが失われる可能性があります。RAID1 SSDを取り外して交換する場合は、**raid add local-disk 1|2** コマンドを使用して、RAID1構成に再度追加する必要があります。SSDドライブ識別子は、disk0: および disk1: です。



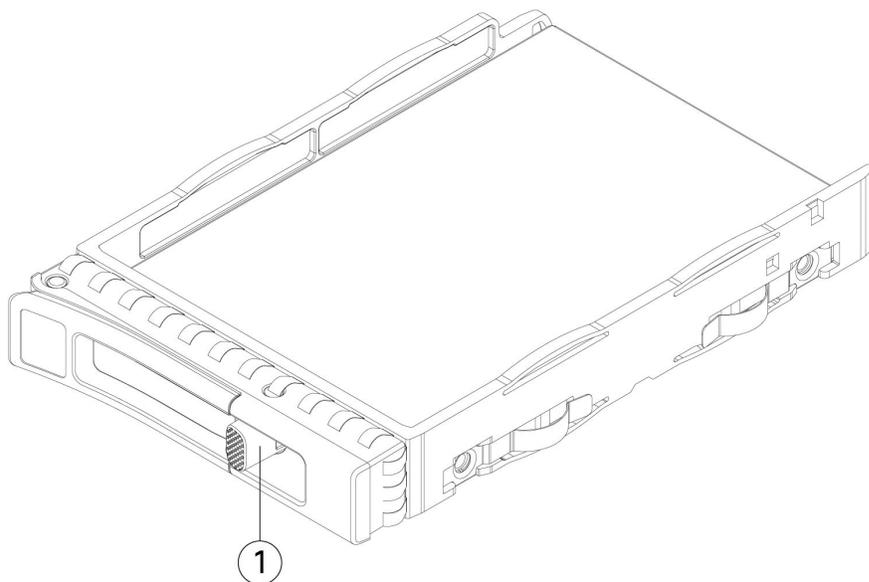
**注意** SSDが1つしかない場合、ファイアウォールの電源がオンになっている間はSSDを取り外すことはできません。



**注意** 異なるプラットフォーム間で SSD を交換することはできません。たとえば、3100 シリーズモデルで 2100 シリーズの SSD を使用することはできません。2 台の Cisco Secure Firewall 3100 間で SSD をスワップする場合は、**remove-secure local disk** コマンドを使用します。そうしないと、SED（自己暗号化ドライブ）がロックされることがあります。SED がロックされているというエラーメッセージが表示された場合は、PSID を入力すると、システムが SED をクリアして新しいキーセットを作成できます。特に PSID が不明な場合、この状況を回避するには、SSD を取り外す際に常に **remove-secure local disk** を使用してください。SSD を安全に取り外す手順については、「[Cisco Secure Firewall 3100/4200 での SSD のホットスワップ](#)」を参照してください。

Secure Firewall 3100 SSD に関連する PID のリストについては、「[製品 ID 番号（41 ページ）](#)」を参照してください。

図 15: SSD



1	SSD リリースタブ	—
---	------------	---

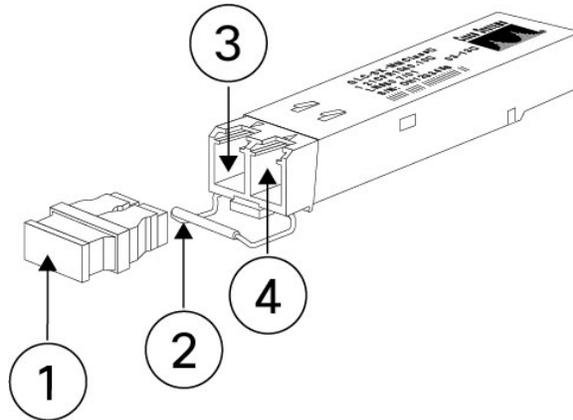
#### 詳細情報

- 前面パネルの SSD LED の場所と説明については、「[前面パネル LED（14 ページ）](#)」を参照してください。
- SSD の取り外しと交換の手順については、[SSD の取り外しと交換](#) を参照してください。
- RAID1 構成から SSD を削除および追加する手順については、ソフトウェアの構成ガイドを参照してください。

## サポート対象の SFP/SFP+/QSFP+ トランシーバ

SFP/SFP+/QSFP+ トランシーバは、同じ物理パッケージ内にトランスミッタとレシーバを備えた双方向機器です。この機器はホットスワップ可能な光または電気（銅線）インターフェイスであり、固定ポートとネットワーク モジュール ポートの SFP/SFP+/QSFP ポートに装着され、イーサネット接続を提供します。

図 16: SFP トランシーバ



1	ダスト プラグ	2	ベイル クラスプ
3	受信光ボア	4	送信光ボア

### 安全上の警告

次の警告を記録しておいてください。



#### 警告 ステートメント 1055 - クラス I およびクラス 1M レーザーまたはその一方

目に見えないレーザー放射があります。望遠鏡を使用しているユーザに光を当てないでください。これは、クラス 1/1M のレーザー製品に適用されます。



#### 警告 ステートメント 1056 - 未終端の光ファイバケーブル

未終端の光ファイバの末端またはコネクタから、目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。光学機器で直接見ないでください。ある種の光学機器（ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など）を使用し、100 mm 以内の距離でレーザー出力を見ると、目を傷めるおそれがあります。

**警告** ステートメント 1057 - 危険性のある放射

このマニュアルで指定されている管理、調整、または実行手順以外の操作を行った場合、危険な放射線に被曝する可能性があります。



**警告** トランシーバを取り付ける際には、適切な ESD 手順に従ってください。背面の端子には触れないようにしてください。また、端子とポートは、ほこりや汚れが付いていない状態に維持する必要があります。未使用のトランシーバは、出荷時の ESD パッケージに保管してください。



**注意** シスコ以外の SFP は使用できますが、シスコではテストや検証が行われていないため、使用することは推奨されていません。Cisco TAC は、テストされていないサードパーティ製の SFP トランシーバを使用したことに起因する相互運用性の問題についてはサポートを拒否することがあります。

次の表に、すべての 3100 モデルの固定ポートと、FPR3K-XNM-8X10G および FPR3K-XNM-8X25G ネットワークモジュールでサポートされるトランシーバを示します。

表 4: サポートされている 1 Gb SFP トランシーバ

オプティクスのタイプ	PID	説明
1G、1000Base-T	GLC-TE	1 Gb 銅線 SFP
1G マルチモード	GLC-SX-MMD	850 nm
1G シングルモード	GLC-LH-SMD	1,310 nm
1G SM (拡張)	GLC-EX-SMD	40 km
1G SM	GLC-ZX-SMD	80 km

次の表に、すべての 3100 モデルの固定ポートと、FPR3K-XNM-8X10G および FPR3K-XNM-8X25G ネットワークモジュールでサポートされるトランシーバを示します。

表 5: サポートされている 10 Gb SFP トランシーバ

オプティクスのタイプ	PID	説明
10G-SR	SFP-10G-SR	—
10G-SR	SFP-10G-SR-S	イーサネットのみ
10G-LR	SFP-10G-LR	—
10G-LR	SFP-10G-LR-S	イーサネットのみ

オプティクスのタイプ	PID	説明
10G-ER	SFP-10G-ER-S	—
10G-ZR	SFP-10G-ZR	—
10G-ZR	SFP-10G-ZR-S	—
10G DAC 銅線	SFP-H10GB-CUxM	長さ 1、1.5、2、2.5、3、4、5 m (注) リンクパートナーの送信強度を 400mV 以上に設定する必要があります。
10G DAC CU アクティブ	SFP-H10GB-ACUxM	長さ 7、10 m
10G AOC	SFP-10G-AOCxM	長さ 1、2、3、5、7、10 m

次の表に、Cisco Secure Firewall 3130 および 3140 の固定ポート、および FPR3K-XNM-8X25G ネットワークモジュールでサポートされるトランシーバを示します。

表 6: サポートされている 25 Gb SFP トランシーバ

オプティクスのタイプ	PID	説明
25G-SR	SFP-25G-SR-S	—
25G-CSR	SFP-10/25G-CSR-S	デュアルレート、到達距離を延長可能
25G-LR	SFP-10/25G-LR-S	デュアルレート
25G DAC 銅線	SFP-H25G-CUxM	長さ 1、1.5、2、2.5、3、4、5 m
25G AOC	SFP-25G-AOCxM	長さ 1、2、3、4、5、7、10 m

次の表に、FPR-X-NM-4X40G ネットワークモジュールでサポートされるトランシーバを示します。

表 7: FPR-X-NM-4X40G でサポートされる 40 Gb SFP トランシーバ

オプティクスのタイプ	PID	説明
40G-SR4	QSFP-40G-SR4	—
40G-SR4-S	QSFP-40G-SR4-S	イーサネットのみ

オプティクスのタイプ	PID	説明
40G-CSR4	QSFP-40G-CSR4	OM3 使用時 300 m
40G-SR-BD	QSFP-40G-SR-BD	LC コネクタ
40G-LR4-S	QSFP-40G-LR4-S	イーサネットのみ
40G-LR4	QSFP-40G-LR4	イーサネットと OTU3
40G-LR4L	WSP-Q40GLR4L	LR4 Lite 最大 2 km
40G-CU	Cisco QSFP-H40G-CUxM	QSFP から QSFP への直接接続銅ケーブル (パッシブ)、長さ 1、3、5 m
40G-CU-breakout	QSFP-4SFP10G-CUxM	QSFP+ から 4xSFP への直接接続銅ケーブル、長さ 1、2、3、4、5 m
40G-CU-A	Cisco QSFP-H40G-ACUxM	QSFP から QSFP への直接接続銅ケーブル (アクティブ)、長さ 7、10 m
40G-CU-A-breakout	Cisco QSFP-4X10G-ACUxM	QSFP から QSFP への直接接続銅ケーブル (アクティブ)、長さ 7、10 m
40G-AOC	QSFP-H40G-AOCxM	QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル、長さ 1、2、3、5、7、10、15、30 m
40G-AOC-breakout	QSFP-4X10G-AOCxM	QSFP から 4xSFP へのアクティブ光ケーブル、長さ 1、2、3、5、7、10、15、30 m

## ハードウェア仕様

次の表には、Secure Firewall 3100 のハードウェア仕様が含まれています。

仕様	3105	3110	3120	3130	3140
シャーシの寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	1.75 x 17 x 20 インチ (4.4 x 43.3 x 50.8 cm)				

仕様	3105	3110	3120	3130	3140
ネットワークモジュールの寸法 (H x W x D)	1.5 x 3.7 x 10.5 インチ (4.39 x 9.4 x 26.67 cm)				
シャーシコンポーネントの重量	ネットワークモジュール : 1.6 ポンド (0.73 kg) SSD : 0.25 ポンド (0.11 kg) 電源モジュール : 201 ポンド (91.17 kg) ファンモジュール : 0.5 ポンド (.23)				
シャーシの重量	10.5 kg (23 lb) 1つの電源モジュール、1つのネットワークモジュール、2つのデュアルファンモジュール、1つの SSD			25 ポンド (11.4 kg) 2つの電源モジュール、1つのネットワークモジュール、2つのデュアルファンモジュール、1つの SSD	
システム電源	100/240 VAC 6 A (100 VAC で) 50 ~ 60 Hz				
温度	動作 : 32 ~ 104°F (-0 ~ 40°C) 非動作時 : -4 ~ 65 °C (-20 ~ 149 °F) (最大高度は 40,000 フィート)				
湿度	動作時と保管時 : 10 ~ 85 % (結露しないこと)				
高度	動作時 : 最高 10,000 フィート 非動作時 : 最高 40,000 フィート				
音圧	65 dB @ 77°F (25°C) 代表値 80 dB @ 77°F (25°C) 最大				
音量	72 (代表値) 80 (最大)				

## 製品 ID 番号

次の表に、Secure Firewall 3100 に関連付けられた製品 ID (PID) を示します。表にあるすべての PID は現場交換可能です。いずれかのコンポーネントの返品許可 (RMA) を取得する必要がある場合は、[シスコ返品ポータル](#)で詳細を確認してください。



(注) Secure Firewall 3100 の PID のリストを表示するには、『[Cisco Firepower Threat Defense Command Reference](#)』または『[Cisco ASA Series Command Reference](#)』の **show inventory** コマンドを参照してください。

表 8 : Secure Firewall 3100 PID ( )

PID	説明
シャーシ	
FPR3105-ASA-K9	Cisco Secure Firewall 3105 ASA シャーシ 1 RU
FPR3110-ASA-K9	Cisco Secure Firewall 3110 ASA シャーシ 1 RU
FPR3120-ASA-K9	Cisco Secure Firewall 3120 ASA シャーシ 1 RU
FPR3130-ASA-K9	Cisco Secure Firewall 3130 ASA シャーシ 1 RU
FPR3140-ASA-K9	Cisco Secure Firewall 3140 ASA シャーシ 1 RU
FPR3105-NGFW-K9	Cisco Secure Firewall 3105 □次世代ファイアウォールシャーシ 1 RU
FPR3110-NGFW-K9	Cisco Secure Firewall 3110 次世代ファイアウォールシャーシ 1 RU
FPR3120-NGFW-K9	Cisco Secure Firewall 3120 次世代ファイアウォールシャーシ 1 RU
FPR3130-NGFW-K9	Cisco Secure Firewall 3130 次世代ファイアウォールシャーシ 1 RU
FPR3140-NGFW-K9	Cisco Secure Firewall 3130 次世代ファイアウォールシャーシ 1 RU
[アクセサリ (Accessories) ]	
FPR3K-ACY-KIT	シャーシに付属のアクセサリキット
FPR3K-ACY-KIT=	アクセサリキット (スペア)
FPR3K-PWR-AC-400	400 W AC 電源
FPR3K-PWR-AC-400=	400W AC 電源 (予備)
PWR-CC1-400WDC	400 W AC 電源
PWR-CC1-400WDC=	400W DC 電源 (予備)

PID	説明
FPR3K-PSU-BLANK	電源ブランク スロット カバー
FPR3K-PSU-BLANK=	電源ブランク スロット カバー (予備)
FPR3K-SSD900	900GB SSD
FPR3K-SSD900=	900GB SSD (予備)
FPR3K-SSD-BLANK	SSD 空きスロットキャリア
FPR3K-SSD-BLANK=	SSD 空きスロットキャリア (スペア)
FPR3K-FAN	デュアルファンモジュール
FPR3K-FAN=	デュアルファンモジュール (スペア)
FPR3K-SLIDE-RAILS	スライド レール キット
FPR3K-SLIDE-RAILS=	スライド レール キット (予備)
FPR3K-CBL-MGMT	ケーブル管理ブラケット
FPR3K-CBL-MGMT=	ケーブル管理ブラケット (予備)
FPR3K-BRKT	ラックマウント ブラケット
FPR3K-BRKT=	ラックマウント ブラケット (予備)
ネットワーク モジュール	
FPR3K-XNM-6X1SXF	6 ポート 1 Gb SFP ファイバハードウェア バイパス ネットワーク モジュール、SX マルチモード
FPR3K-XNM-6X1SXF=	6 ポート 1 Gb SFP ファイバハードウェア バイパス ネットワーク モジュール、SX マルチモード (スペア)
FPR3K-XNM-6X10SRF	6 ポート 10 Gb SFP ファイバハードウェア バイパス ネットワーク モジュール、SR マルチモード
FPR3K-XNM-6X10SRF=	6 ポート 10 Gb SFP ファイバハードウェア バイパス ネットワーク モジュール、SR マルチモード (スペア)
FPR3K-XNM-6X10LRF	6 ポート 10 Gb SFP ファイバハードウェア バイパス ネットワーク モジュール、LR シングルモード

PID	説明
FPR3K-XNM-6X10LRF=	6 ポート 10 Gb SFP ファイバハードウェアバイパスネットワークモジュール、LR シングルモード (スペア)
FPR3K-XNM-6X25SRF	6 ポート 25 Gb SFP ファイバハードウェアバイパスネットワークモジュール、SR マルチモード
FPR3K-XNM-6X25SRF=	6 ポート 25 Gb SFP ファイバハードウェアバイパスネットワークモジュール、SR マルチモード (スペア)
FPR3K-XNM-6X25LRF	6 ポート 25 Gb SFP ファイバハードウェアバイパスネットワークモジュール、LR シングルモード
FPR3K-XNM-6X25LRF=	6 ポート 25 Gb SFP ファイバハードウェアバイパスネットワークモジュール、LR シングルモード (スペア)
FPR3K-XNM-8X1GF	8 ポート 10/100/1000Base-10 ハードウェアバイパスネットワークモジュール
FPR3K-XNM-8X1GF=	8 ポート 10/100/1000Base-10 ハードウェアバイパスネットワークモジュール (予備)
FPR3K-XNM-8X10G	8 ポート 1/10 Gb SFP+ ネットワークモジュール
FPR3K-XNM-8X10G=	8 ポート 1/10 Gb SFP+ ネットワークモジュール (予備)
FPR3K-XNM-8X25G	8 ポート 1/10/25 Gb QSFP ネットワークモジュール
FPR3K-XNM-8X25G=	8 ポート 1/10/25 Gb QSFP ネットワークモジュール (予備)
FPR3K-XNM-4X40G	4 ポート 40 Gb QSFP+ ネットワークモジュール
FPR3K-XNM-4X40G=	4 ポート 40 Gb QSFP+ ネットワークモジュール (予備)
FPR3K-NM-BLANK	ネットワークモジュールブランクスロットカバー

PID	説明
FPR3K-NM-BLANK=	ネットワーク モジュール ブランク スロット カバー (予備)

## 電源コードの仕様

各電源装置には個別の電源コードがあります。Secure Firewall との接続には、標準の電源コードまたはジャンパ電源コードを使用できます。ラック用のジャンパ電源コードは、必要に応じて標準の電源コードの代わりに使用できます。

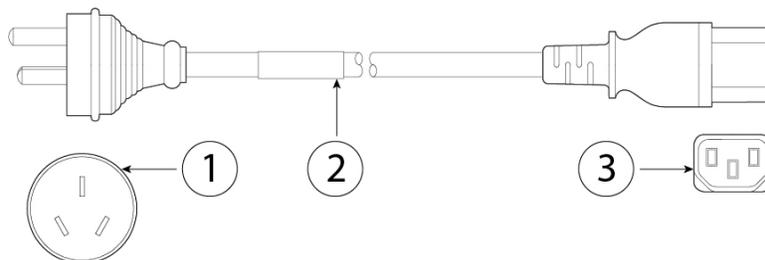
システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザーの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気的安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。



- (注) 使用できるのは、Secure 3100 に付属している認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードだけです。

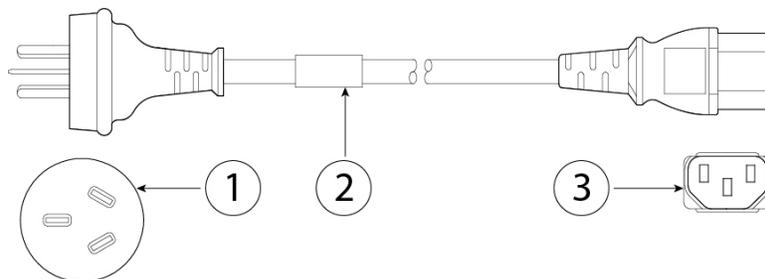
次の電源コードがサポートされています。

図 17: アルゼンチン (CAB-ACR)



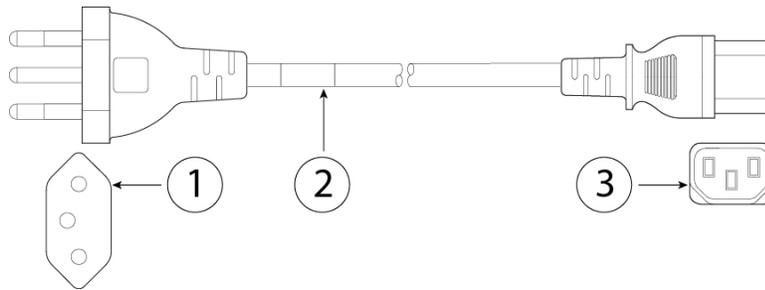
1	プラグ : EL 219/IRAM 2073	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 18: オーストラリア (CAB-ACA)



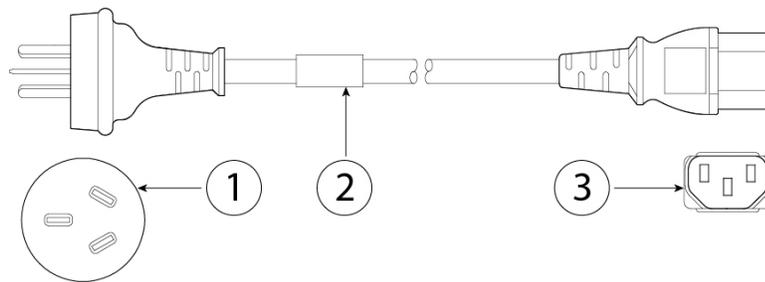
1	プラグ : A.S. 3112	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 19: ブラジル (CAB-C13-ACB)



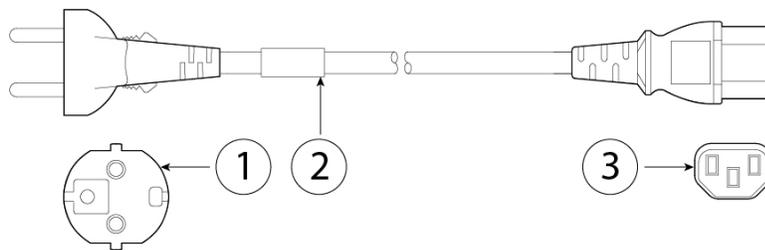
1	プラグ : NBR 14136	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.1 m

図 20: 中国 (CAB-ACC)



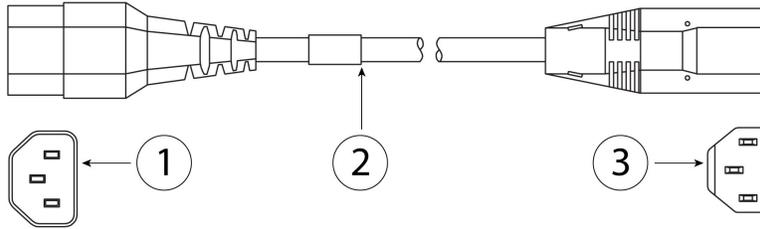
1	プラグ : GB2099.1-2008	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 21: 欧州 (CAB-ACE)



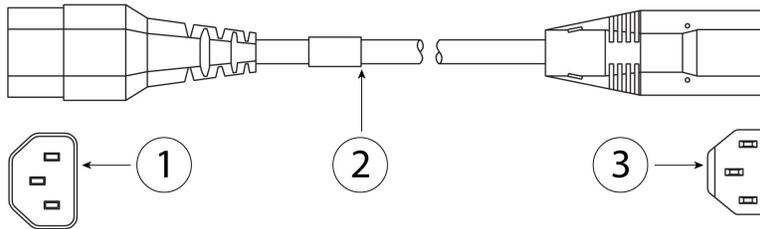
1	プラグ : CEE 7 VII	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 1.5 m

図 22: インドジャンパー (CAB-C13-C14-3M-IN)



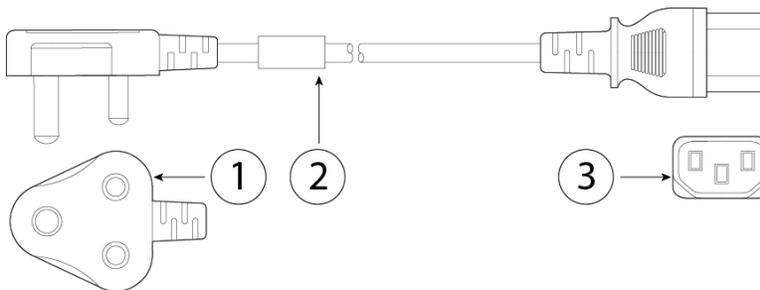
1	IEC 60320/C14G	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 3 m

図 23: インドジャンパー (CAB-C13-C14-IN)



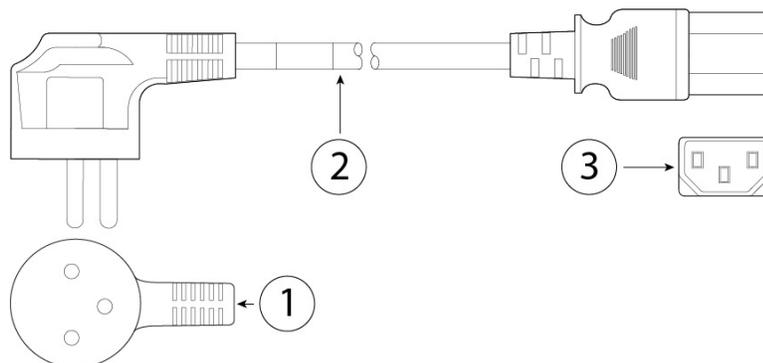
1	IEC 60320/C14G	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 1.4 m

図 24: インド (PWR-CORD-IND-D)



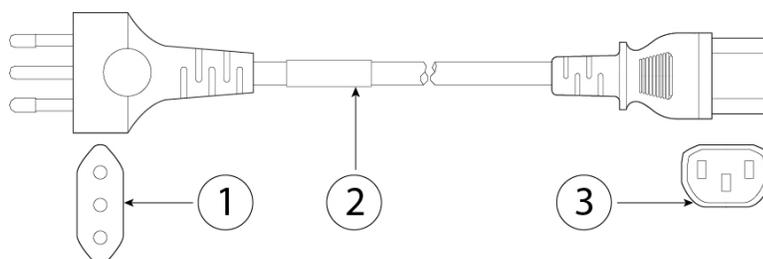
1	プラグ : IS 6538-1971	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 1.8 m

図 25: イスラエル (CAB-250V-10A-IS)



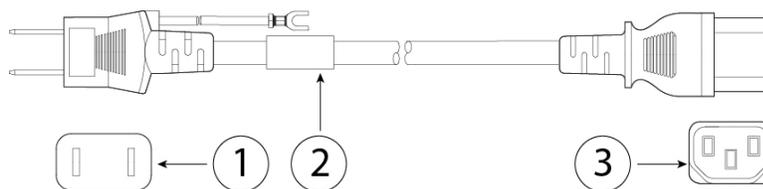
1	プラグ : SI-32	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 26: イタリア (CAB-ACI)



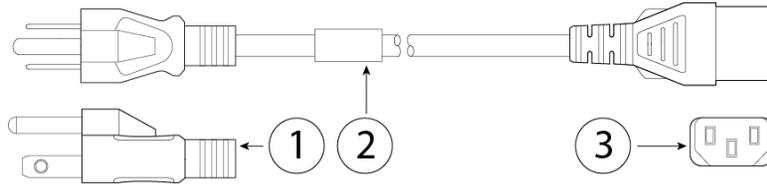
1	プラグ : CEI 23-16	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 27: 日本 (CAB-JPN)



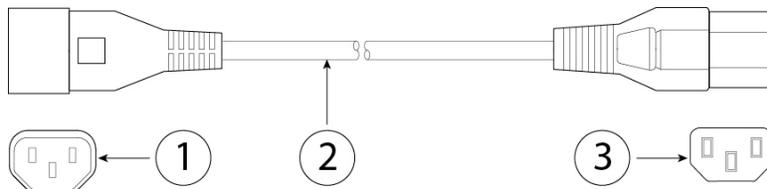
1	プラグ : JIS C8303	2	コードセット定格 : 12 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 28: 日本 (CAB-JPN-3PIN)



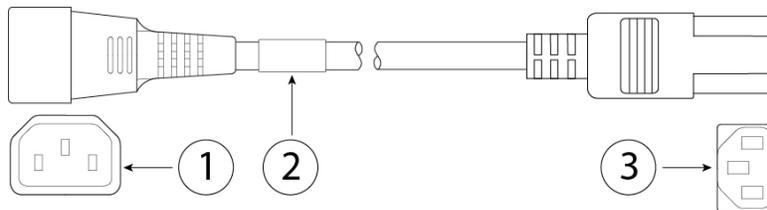
1	プラグ : JIS C8303/JIS C8306	2	コードセット定格 : 12 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.3 m

図 29: 日本 (CAB-C13-C14-2M-JP) PSE マーク



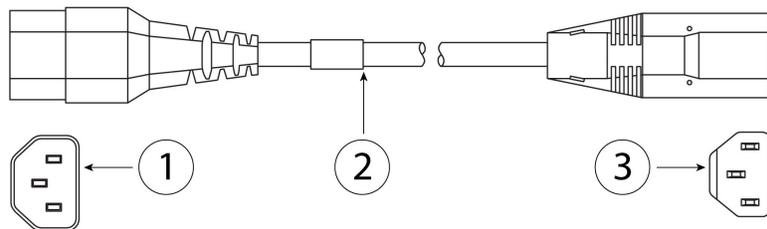
1	IEC 60320-2-2/E	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2 m

図 30: ジャンパ (CAB-C13-C14-2M)



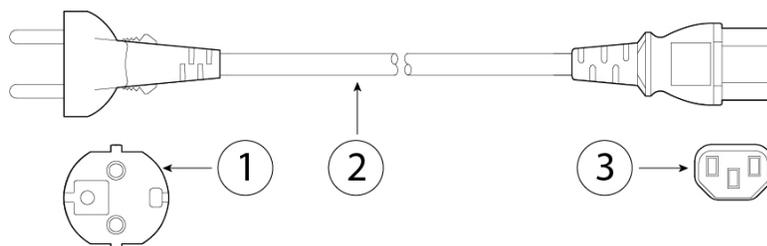
1	IEC 60320/C14G	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 31: キャビネットジャンパ (CAB-C13-CBN)



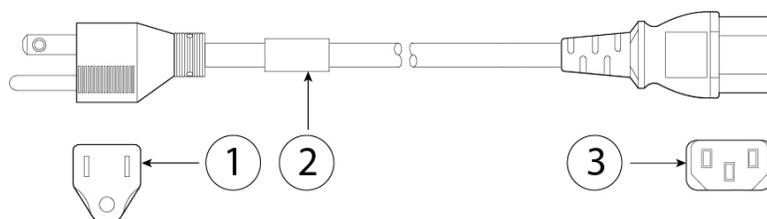
1	IEC 60320-2-2/E	2	コードセット定格：10 A、250 V
3	コネクタ：IEC 60320/C13		コード長：0.7 m

図 32: 韓国 (CAB-AC-C13-KOR)



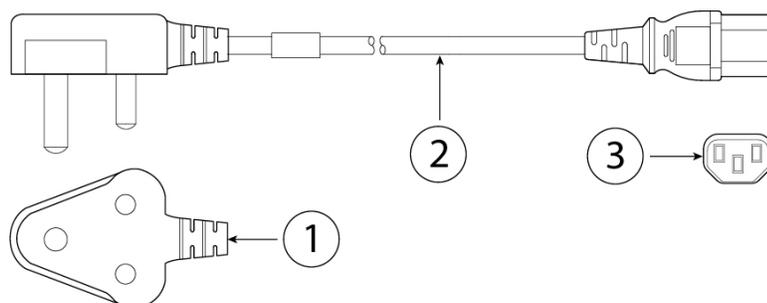
1	プラグ：KSC 8305	2	コードセット定格：10 A、250 V
3	コネクタ：IEC 60320/C13		コード長：1.8 m

図 33: 北米 (CAB-AC)



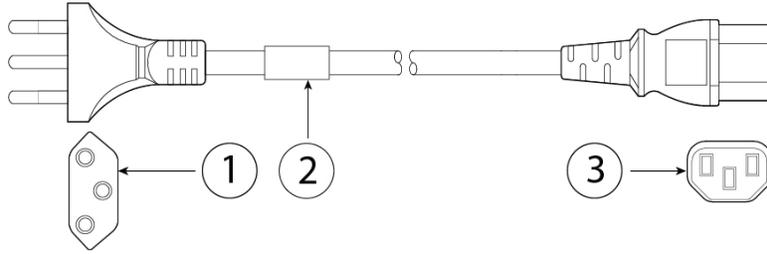
1	プラグ：NEMA 5-15P	2	コードセット定格：10 A、125 V
3	コネクタ：IEC 60320/C13		コード長：2.1 m

図 34: 南アフリカ (CAB-ACSA)



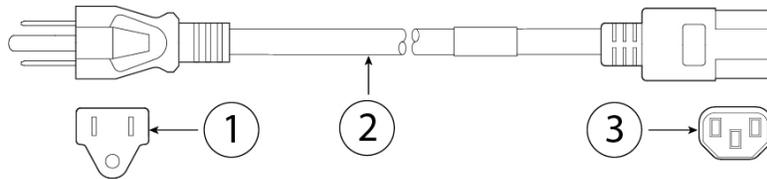
1	プラグ：SABS 164/1	2	コードセット定格：16 A、250 V
3	コネクタ：IEC 60320/C13		コード長：1.8 m

図 35: スイス (CAB-ACS)



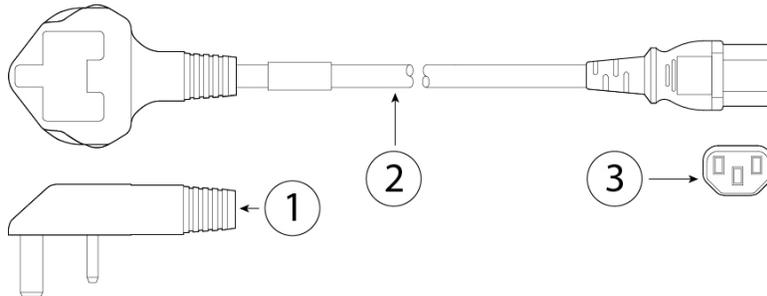
1	プラグ : SEV 1011	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m

図 36: 台湾 (CAB-ACTW)



1	プラグ : CNS10917	2	コードセット定格 : 10 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.29 m

図 37: 英国 (CAB-ACU)



1	プラグ : BS1363A/SS145	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		コード長 : 2.5 m



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。